奈義町六十五年

写真が語る奈義町のあゆみ

2004－2019

奈義町小さな世界

写真が語る奈義町のあゆみ

2004－2019

空から見る
奈義の変遷

令和元年撮影

昭和30年頃撮影

平成16年撮影

平成13年撮影

平成5年撮影

昭和52年頃撮影

序文

本町は、昭和30年2月1日、北吉野村・豊田村・豊並村の3村合併で奈義町が発足し、令和2年2月に町制施行65周年を迎えることができました。これもひとえに先人・先輩諸賢の弛まぬご努力と町民皆様のご理解、そしてご協力の賜物であり、ここに深甚なる敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

本書は平成16年、町制施行50周年の折に作成しました「奈義町五十年　写真が語る奈義町のあゆみ　１９５５－２００４」の続編と位置づけ、２００４年から町制施行65周年までの15年間を振り返るものとして作成いたしました。

この15年間には、インターネットやスマートフォンなどの普及により、以前とは比べ物にならない量の情報が行き交う、情報化社会へと向かう15年でありました。そして、その間には東日本大震災や西日本豪雨など未曾有の大災害が発生し、さらには新型コロナウイルス感染症の世界的流行など、先行きの見通せない、不確定性の高い時代の到来でもあります。

この間の奈義町の変遷を顧みますと、半世紀の節目を迎えた町制施行50周年や晴れの国おかやま国体の開催、那岐山麓山の駅の総合竣工、町内全戸への光ファイバー網の整備や防災無線の設置、下水道事業の竣工、そして、人口減少に歯止めをかけ、次世代に活力ある奈義町を引き継ぐために実施する地方創生事業など、町民皆様のご理解とご協力により小さな町が大きく躍進する様々な事業を進めてまいりました。

本誌が町の移り変わりを振り返り、先人の英知に触れ、新しい時代を創造する出発点としてご高覧いただくことを祈念いたしまして序文といたします。

令和三年三月

奈義町長　奥　正親

目　　次

2　空から見る奈義の変遷

4　序　　文

6　 2004-2019 平成16年～令和元年　情報化の時代

72　新聞で見る奈義町の15年

81　あ　と　が　き

2004 - 2019

平成16年～令和元年

情報化の時代

全国的なインターネットの普及に伴い、大量の情報が行き交う情報化の時代が到来した。また、東日本大震災や西日本豪雨などの未曽有の大災害が発生するなど、気候変動の影響が私たちの暮らしに影響を及ぼしてきた。不確定性の高い時代の中で、奈義町でも予想できない事態に対応していく柔軟性がいままで以上に求められるだろう。

1
2 3

1．小商いマーケットプレイス（ナギテラス）
2．奈義町地域情報通信基盤整備事業光サービス運用開始
3．子育て応援宣言

平成16年

2004

この年のトップニュース

10月23日、新潟県中越地震が発生。最大震度7、死者46人。開業以来初めて新幹線（上越新幹線）が脱線。

その他のニュース

アテネ五輪で史上最多金16個
北朝鮮拉致被害者の３家族帰国
自衛隊のイラク派遣を開始
吉備中央町、瀬戸内市など誕生
苫田ダム完成、構想から47年
スマトラ沖地震、30万人余犠牲

流行語

「チョー気持ちいい」、「気合だー！」、「セカチュー」、「サプライズ」、「自己責任」、「冬ソナ」、「新規参入」

⑪ 町制施行50周年記念式典、町制を施行し半世紀の節目を迎える

⑥ Nagiの自然を満喫する夏2004（町制施行50周年記念事業）
大滝を目指して沢登りをする参加者

⑨ 町制施行50周年記念講演会（假屋崎省吾氏）

⑩ 町制施行50周年記念式典前夜祭　町民まつり

⑬ 奈義町50年　写真が語る奈義町のあゆみ発行

⑫ 町内に大きな傷跡を残した台風23号（51.8m／sec）

台風23号の襲来により電柱が折れ役場の車両を押し潰した

月	主な出来事
4	おかやま森づくり県民税導入
	① 晴れの国おかやま国体第一回標準献立試食会
	健康なぎ21計画ダイジェスト版配布
	乳幼児及び児童医療費給付対象の拡大（就学前児の入院外来と小学校卒業までの入院の無償化）
	② 第48回全日本銃剣道優勝大会優勝（2連覇）（日本原駐屯地代表選手）
5	③ なぎスポーツクラブ　オープンフェスティバル開催
	④ 第51回県消防操法訓練大会出場（第3分団第4部）
6	民泊説明会
7	奈義中央浄化センター建設工事着工
8	⑤ かがり火歌舞伎公演
	⑥ Nagiの自然を満喫する夏2004（町制施行50周年記念事業）
	⑦ 幼稚園統合計画説明会
	台風16号（31・6m／sec）
9	台風18号（39・4m／sec）
	台風21号（42・0m／sec）
10	⑧ 国体銃剣道競技リハーサル大会
	⑨ 町制施行50周年記念講演会（假屋崎省吾氏）
	⑩ 町制施行50周年記念式典前夜祭町民まつり
	⑪ 町制施行50周年記念式典
	⑫ 台風23号（51・8m／sec）
	台風被害の救済を国へ陳情
	台風被害に伴う廃棄物収集
	⑬ 奈義町50年　写真が語る奈義町のあゆみ発行
11	⑭ 民泊に向けた調理講習会
12	単独町政推進のための第1回広域連携検討会（奈義町・勝央町）
	小型動力ポンプ付積載車第1分団第5部更新（荒内西）

平成16年 2004

① 晴れの国おかやま国体の選手民泊に向けた標準献立試食会

⑧ 国体銃剣道競技リハーサル大会の開催

⑭ 民泊に向け各地区で調理講習会を行う

⑦ 幼稚園数を４園から２園とする幼稚園統合計画説明会

⑤ 山の駅での幻想的なかがり火歌舞伎公演

② 第48回全日本銃剣道優勝大会優勝（2連覇）
（日本原駐屯地代表選手）

③ なぎスポーツクラブ　オープンフェスティバル開催

④ 第51回県消防操法訓練大会出場（第3分団第4部）

平成 17 年

2005

この年のトップニュース

４月25日、ＪＲ福知山線で快速電車が脱線、107人が死亡、555人が負傷し、ＪＲ史上最悪の惨事となった。

その他のニュース

天皇家の長女紀宮さまが結婚
クールビズがスタート
郵政民営化関連法案が成立
「晴れの国岡山国体」を開催
三越倉敷、ダイエー岡山店閉店
全国高校女子駅伝で興譲館優勝

流行語

「小泉劇場」、「想定内（外）」、「クールビズ」、「ちょい不良（ワル）」、「ヒルズ族」、「萌え～」、「刺客」

第60回国民体育大会
銃剣道競技会開催

第60回国民体育大会銃剣道競技岡山県予選会

主な出来事

月	
1	奈義町消防団員定数４００人から３５０人に改正
2	２００５年世界農林業センサス
4	つどいの広場「ちゅくしんぼ」事業開始
	出産祝金支給開始
	農事組合法人西原営農組合設立
	地方振興局から県民局への再編
5	① つくし団地モデルハウス見学会
	② 第52回岡山県消防操法訓練大会出場（第2分団第４部）
6	奈義町個人情報保護条例制定
	③ 晴れの国岡山国体応援旗　小学校６年生作成
7	④ 南極の氷が届く
	⑤ 第60回国民体育大会銃剣道競技予選会
	⑥ 晴れの国岡山国体に向けて日本原駐屯地と覚書調印
	⑦ 晴れの国岡山国体採火
9	台風14号（35・４m／sec）
10	つどいの広場事業が始まる
10	小型動力ポンプ付積載車第1分団第３部更新（中島東地区）
	国勢調査
	国保の被保険者証がカードサイズに変更
	⑧ 第60回国民体育大会銃剣道競技会開催
11	⑨ 高規格救急車配備
	岡山県広域水道企業団の水道水を町内全域に給水開始
12	⑩ 商工会合併契約締結（奈義町商工会、作州津山商工会）
	⑪ 戸籍事務のコンピュータ化
	日米共同訓練実施の受け入れに対する議会決議を議決

ジャンボリー大会で行った晴れの国岡山国体採火

平成17年 DATA

国政調査

人　口	6,475人
男	3,184人
女	3,291人
世帯数	2,020世帯

農林業センサス

農家戸数727戸（兼業農家181戸・第１種兼業農家68戸・第２種兼業農家478戸）農家人口3,303人

小学校6年生が作成した晴れの国岡山国体応援旗

晴れの国岡山国体に向けて
日本原駐屯地と覚書調印

① つくし団地に整備したモデルハウス見学会が行われた

② 第52回岡山県消防操法訓練大会出場
（第2分団第4部）

④ 海上自衛隊砕水船「しらせ」が採取した南極の氷が届く

⑨ 津山圏域消防組合日本原出張所に高規格救急車を配備

⑩ 商工会合併契約締結（奈義町商工会、作州津山商工会）

⑪ 戸籍事務が紙管理からコンピュータ化する

平成18年 2006

この年のトップニュース

3月21日、第1回ワールド・ベースボール・クラシック決勝で、王ジャパンがキューバを破り初代世界一に。

その他のニュース

北朝鮮が地下核実験、国連制裁
ＪＲ岡山駅橋上駅舎オープン
トリノ五輪で荒川静香金メダル
日本郵政株式会社が発足
ＪＲ津山線で脱線、25人負傷
地上デジタル放送始まる

流行語

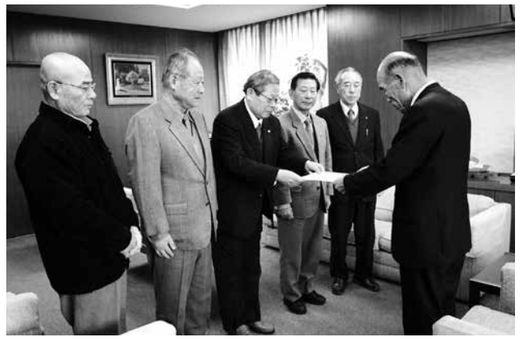
「イナバウアー」、「品格」、「ハンカチ王子」、「格差社会」、「脳トレ」、「メタボ」、「シンジラレナ～イ」

② 子どもの意見を町政に反映させる「子ども議会」を開催

山野草公園

⑦ 那岐山麓 山の駅が総合竣工する

月	主な出来事
2	① 那岐山麓山の駅に奈義勝北ライオンズクラブから「野外卓」「テント」の寄付
	日本原駐屯地で初の日米共同訓練
3	② 子ども議会開催
	③ 奈義町まちづくり総合計画策定（平成18年～平成22年）
	ボランティアなぎによる「いろり家」完成
	奈義町老人保健福祉計画・第3期介護保険事業計画策定
	奈義町地域新エネルギービジョン策定
	農業用機械受託作業廃止（産業振興協議会）
4	幼稚園統合（町内2園）（滝川つくし幼稚園・中央東幼稚園）
	④ 通園バス開始
	介護予防事業開始
	地域支援（食の自立支援）事業開始
	障害者地域生活支援事業開始
	緊急通報システム設置事業開始



③ 奈義町まちづくり総合計画策定（平成18年～平成22年）

④ 幼稚園統合に伴なう通園バス開始

天空橋

ボランティアなぎによるいろり家

月	主な出来事
4	地域包括支援センター新設
	不妊治療支援事業開始
	⑤ 奈義町スケートボード場オープニングセレモニー
	⑥ 第50回全日本銃剣道優勝大会優勝（4連覇）（日本原駐屯地代表選手）
	⑦ 「那岐山麓 山の駅」総合竣工（山野草公園、天空橋、いろり家、コテージ、芝生広場等）
5	⑧ 第53回岡山県消防操法訓練大会出場（本部2号車）
9	奈義中央広場にサッカーゴール設置
	⑨ 奈義町ホームページ特選・総務大臣賞、読売新聞社賞受賞（全国広報コンクール）
10	旅券事務の事務権限委譲（県から市町村へ）
	小中学校給食センター起工
11	⑩ 広報なぎ600号発刊
	文化協会20周年記念公演会（桂米裕）
	⑪ ウォーキングプール利用者5万人達成
	日本PTA全国協議会会長表彰受賞（奈義町PTA）

平成18年 2006

⑤ プロスケーター参加による奈義町スケートボード場
オープニングセレモニー

① 山の駅へ奈義勝北ライオンズクラブから
「野外卓」「テント」の寄付

⑥ 第50回全日本銃剣道優勝大会優勝（4連覇）
（日本原駐屯地代表選手）

⑧ 第53回岡山県消防操法訓練大会出場
（本部2号車）

主な出来事

月	
12	⑫ 奈義保育園を旧中央幼稚園へ移転
	小規模多機能型居宅介護施設着工

⑪ ウォーキングプール利用者5万人達成

⑩ 広報なぎ600号発刊

⑨ 奈義町ホームページ特選・総務大臣賞、
読売新聞社賞受賞（全国広報コンクール）

保育園で遊ぶ子どもたち

⑫ 奈義保育園を旧中央幼稚園へ移転

平成19年

2007

この年のトップニュース

７月29日投開票の参院選で、自民党が歴史的敗北。民主党が参院で第一党になる。安倍首相は９月辞意表明。

その他のニュース

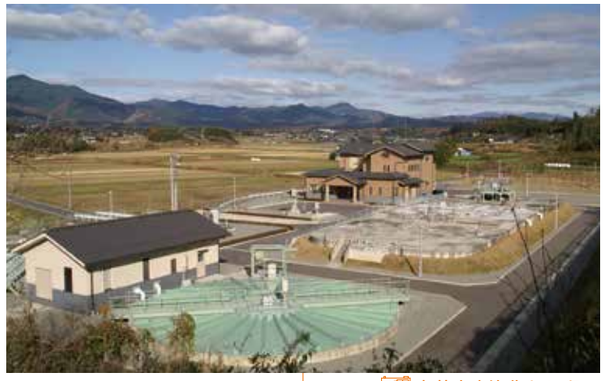
年金記録未統合5000万件判明
日本列島、74年ぶりの猛暑
防衛庁が昇格、防衛省発足
「ねんきん特別便」発送開始
全国高校サッカーで作陽準優勝
石川遼、最年少でツアー優勝

流行語

「どげんかせんといかん」、「ハニカミ王子」、「猛暑日」、「ネットカフェ難民」、「そんなの関係ねえ」

第14期町長　花房昭夫氏
（14期～15期、平成19年～平成27年）

第14期議会（平成19年～ 23年）



奈義中央浄化センター

月	主な出来事
1	全国町村会長表彰受賞（奈義町）
2	農薬散布用無人ヘリリコプター導入
	東山工業団地ＦＴＴＨ化ネットワーク工事完了
	野球場管理棟完成
	町長・町議会議員選挙
3	消防庁長官表彰旗受章（奈義町消防団）
	農事組合法人豊沢営農組合設立
4	小中学校給食センター竣工
	小規模多機能型居宅介護施設「奈義つくし園」開設
	保育園を旧中央幼稚園へ移転
	チャイルドホームを旧保育園へ移設
	乳幼児及び児童生徒医療費給付対象拡大（小学校卒業までの入院外来と中学校卒業までの入院）
	保育園預かり保育開始
	奈義町高等学校就学支援金支給条例制定
4	農地・水・環境保全向上対策制度（第１期対策）開始 ※中島西、柿、豊沢地区で取り組み開始
	学校給食センター運用開始 中学校への給食が始まる
	スケートボード場１周年記念イベント
	第51回全日本銃剣道優勝大会優勝（５連覇）（日本原駐屯地代表選手）
	松神神社歌舞伎舞台　修復記念公演
5	第54回岡山県消防操法訓練大会出場（本部１号車）
	なぎビカリアミュージアム入館者10万人達成
6	奈義中央浄化センター完成
9	日米共同訓練受け入れに対する議会決議を議決
	中島東松神神社秋祭り　夜宮灯籠飾り
10	第９回全国和牛能力共進会出場（鳥取県米子市）（花房芳視氏、鷹取聖氏）
11	全国生涯学習フェスティバル in Nagi
	日米共同訓練
	奈義中学校創立60周年記念植樹

小中学校給食センター竣工

⑧ 松神神社歌舞伎舞台　修復記念公演（廻り舞台の改修）

⑪ 中島東松神神社秋祭り　夜宮灯籠飾り

地元小学生のみで挑戦した
「絵本太功記十段目　尼崎の場」

⑤ 小規模多機能型居宅介護施設奈義
つくし園

⑨ なぎビカリアミュージアム入館者10万人達成

⑫ 第９回全国和牛能力共進会出場（鳥取県米子市）

⑬ 全国生涯学習
フェスティバル in Nagi

同時開催した那岐山トレッキング大会

⑥ 新学校給食センターが稼働し、長年検討されていた
中学校への給食提供が実現

⑦ スケートボード場１周年記念
イベント

③ 消防庁長官表彰旗受章（奈義町消防団）

① 野球場管理棟完成

平成20年 2008

米リーマン破たん
史上最大 負債64兆円
バンカメはメリル救済
東証終値605

この年のトップニュース

9月16日、アメリカ証券大手リーマン・ブラザーズが経営破綻。世界的な株価下落、金融危機へと発展した。

その他のニュース

後期高齢者医療制度がスタート
日本人４人にノーベル賞
北京五輪開催、日本金９個
米大統領に民主党のオバマ氏
ファジアーノ岡山、Ｊ２昇格
倉敷チボリ公園が閉園

流行語

「アラフォー」、「居酒屋タクシー」、「名ばかり管理職」、「ゲリラ豪雨」、「後期高齢者」

2 38年ぶりに行われた東弾着地試射（成松地内射座より）

1 第3分団第4部小型動力ポンプ付積載車更新（高円）

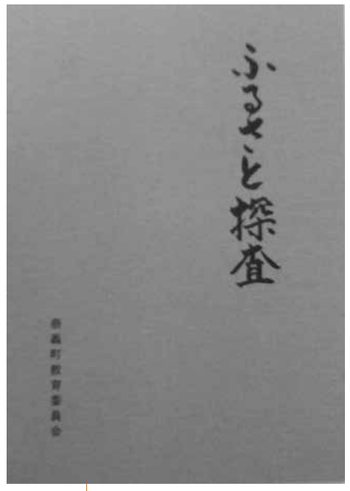
第２分団第４部積載車更新（豊沢）

月	主な出来事
1	1 小型動力ポンプ付積載車第２分団第４部（豊沢）・第３分団第４部（高円）更新
	2 東弾着地試射実施
2	3 行財政改革大綱答申書提出（奈義町行財政改革推進委員会）
	4 セーフティコーン設置（ＰＴＡ）
3	5 中学校パソコン62台導入
4	6 文化財冊子　ふるさと探索発刊
	特定健康診査始まる
	後期高齢者医療制度創設
	保育園一時保育事業開始
	中学生までの医療費無料化
	町福祉バス運行事業開始
	7 放課後児童クラブ施設完成（旧給食棟）
	農事組合法人関本営農組合設立
	町営分譲宅地報奨金交付制度創設（紹介者への交付）
	第52回全日本銃剣道優勝大会優勝（６連覇）（日本原駐屯地代表選手）

3 行財政改革大綱答申書提出（奈義町行財政改革推進委員会）

4 「子ども110番の家」にセーフティコーン設置（PTA）

5 中学校パソコン62台導入



6 文化財冊子 ふるさと探索発刊

月	主な出来事
5	役場窓口での本人確認が法律で義務化
	8 第55回岡山県消防操法訓練大会出場（第２分団第４部）
6	奈義町有機無農薬農業推進検討委員会設置
	9 ＡＥＤ設置（役場）
7	10 公害防止協定締結（㈱ニシハラ印刷）
8	横仙歌舞伎　後楽園「幻想庭園」出演
10	11 奈義町文化功労賞第１号（鷲田奈美さん）
11	12 ビカリアふれあい会館完成
	13 奈義町防災実技訓練（初実施）
	14 山の駅ウッドコンビネーション遊具完成
12	町有樹園地検討委員会答申

⑦ 奈義小学校敷地内に
放課後児童クラブ施設完成
（旧給食棟）

⑧ 第55回岡山県消防操法訓練大会出場（第2分団第4部）

⑨ 日本赤十字社岡山支部から寄贈されたAED設置（役場）

⑪ 奈義町文化功労賞第1号（鷲田奈美さん）

⑩ 公害防止協定締結（（株）ニシハラ印刷）

⑬ 災害に強いまちづくりの一環として奈義町防災実技訓練（初実施）

⑭ 山の駅ウッドコンビネーション遊具完成
（奈義町産ヒノキ使用）

⑫ 完成したビカリアふれあい会館

平成21年 2009

この年のトップニュース

新型インフルエンザが世界的に大流行。日本でも、年内の累計推計患者1200万人余、死者100人を超えた。

その他のニュース

世界同時不況が自動車など直撃
裁判員裁判始まる
民主党鳩山由紀夫内閣が発足
岡山市が政令指定都市に移行
北朝鮮ミサイル、日本上空通過
高速道路で1000円乗り放題割引

流行語

「こども店長」、「草食男子」、「派遣切り」、「歴女」、「政権交代」、「ぼやき」、「事業仕分け」

1 井戸泰医学博士顕彰常設展示場設置

2 環境にやさしい低公害バスを導入

4 なぎビカリアミュージアム10周年記念特別展

月	主な出来事
1	農事組合法人皆木営農組合設立
2	農事組合法人高円営農組合設立
3	軽食喫茶モカ閉店
	第25回国民文化祭奈義町実行委員会設立
	奈義町高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画策定
4	1 井戸泰医学博士顕彰常設展示場設置
	2 低公害バス導入
	保育園土曜日保育（午後）事業開始
	乳幼児家庭全戸訪問事業開始
	「なぎの里活性化支援券」販売開始（以後毎年実施）
	第53回全日本銃剣道優勝大会優勝（7連覇）（日本原駐屯地代表選手）
	妊婦健康診査の公費負担回数を5回から14回に増加
	津山圏域資源循環施設組合設立
	3 交通安全県民運動出発式で警察官共演の横仙歌舞伎を披露
4	4 なぎビカリアミュージアム10周年記念特別展
5	5 横仙歌舞伎活動支援自販機設置
	6 第56回岡山県消防操法訓練大会出場（第2分団第4部）
	7 奈義町安全安心まちづくり条例案の答申書提出
	奈義町子ども読書活動推進計画策定
6	奈義町消防団女性部発足
	防災行政無線整備開始
10	8 小型動力ポンプ付軽四積載車第3分団第6部更新（小坂地区）
	台風18号（32・3m／sec）
	9 「NARUTO－ナルト－疾風伝」特殊切手発行贈呈式
	奈義町エコファーマー連絡協議会設立
11	10 住宅用火災警報器を全戸無償配布

3 交通安全県民運動出発式で警察官共演の横仙歌舞伎を披露

プレミアム付き地域商品券として「なぎの里活性化支援券」を販売開始（以後毎年実施）

9 「NARUTO-ナルト-疾風伝」特殊切手発行贈呈式

10 消防法で設置が義務化された住宅用火災警報器を全戸無償配布

5 横仙歌舞伎活動支援としてオリジナルデザインの自販機設置

7 奈義町安全安心まちづくり条例案の答申書提出

6 第56回岡山県消防操法訓練大会出場（第2分団第4部）

8 小型動力ポンプ付軽四積載車第3分団第6部更新（小坂地区）

平成22年

2010

新田選手おめでとう
祝 新田佳浩選手 金メダルおめでとう！

この年のトップニュース

バンクーバー五輪で高橋大輔が悲願の銅、パラリンピックで新田佳浩が金メダル２個。ともに県民栄誉賞。

その他のニュース

都道府県対抗女子駅伝岡山優勝
瀬戸内国際芸術祭が開幕
日本航空が経営破綻、再生へ
全日本実業団女子駅伝天満屋優勝
全国高校駅伝女子で興譲館優勝
探査機「はやぶさ」７年ぶり帰還

流行語

「ゲゲゲの～」、「いい質問ですね」、「女子会」、「～なう」、「おっはー」、「ジコチュー」、「Qちゃん」

⑧ 中学校で行ったNHK夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会（町制施行55周年記念事業）

⑨ 町制55周年記念講演会「安全・安心まちづくり講演会」（野村勝氏）

平成22年 DATA

国政調査

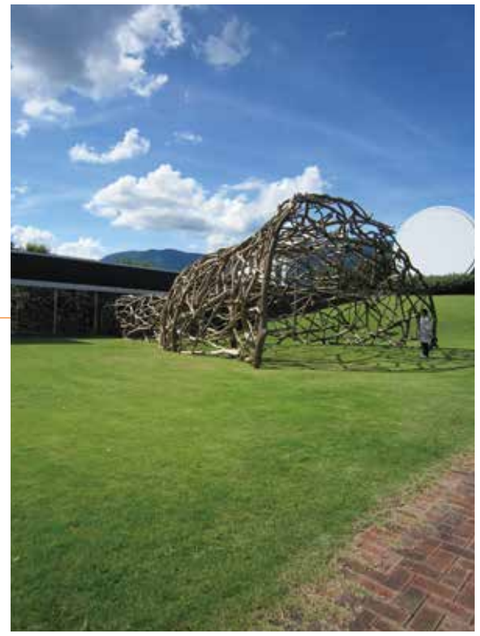
人　口	6,085人
男	2,981人
女	3,104人
世帯数	1,989世帯

農林業センサス

農家戸数597戸（兼業農家168戸・第１種兼業農家59戸・第２種兼業農家370戸）農家人口2,231人

月	主な出来事
2	2010年世界農林業センサス
	日米共同訓練実施
	全国町村議会議長会表彰受賞（奈義町議会）
	①ウォーキングプール利用者10万人達成
	②町制施行55周年記念－こけのむすまで－椿苑展
	③奈義町文化功労賞受賞（高村令子さん）
3	奈義中央広場リニューアル（全面芝生化）
4	学校給食のパンが米粉パンとなる
	奈義町が過疎地域指定される
	保育園延長保育事業開始
	子宮頸がんワクチン予防接種全額助成開始
	ヒブ（Hib）ワクチン予防接種費用一部助成開始
	新築住宅普及促進事業開始
	木造住宅耐震診断・耐震改修一部助成開始
	④防災行政無線運用開始

② 町制施行55周年記念－こけのむすまで－椿苑展



現代美術展現代アートの饗宴 Nagi MOCA

⑩ あっ晴れ！おかやま国文祭

⑪ 町制55周年記念講演会「単独町政・これからのまちづくりひとづくり」（田原総一郎氏）

月	主な出来事
4	⑤第１回菜の花まつり開催
	第54回全日本銃剣道優勝大会優勝（８連覇）（日本原駐屯地代表選手）
5	包括連携協定締結（津山高専）
	⑥第57回岡山県消防操法訓練大会出場（本部１号車）
	⑦奈義町口蹄疫予防対策本部設置
8	地域情報通信基盤整備事業（光ファイバー網整備事業）住民説明会実施
	⑧NHK夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会開催（町制施行55周年記念事業）
9	⑨町制55周年記念講演会「安全・安心まちづくり講演会」（野村勝氏）
	農事組合法人中島西営農組合設立
10	国勢調査
	⑩あっ晴れ！おかやま国文祭
11	奈義町まちづくり総合計画策定委員会提言書提出
	⑪町制55周年記念講演会「単独町政・これからのまちづくりひとづくり」（田原総一郎氏）
12	⑫奈義町特産農産物キャラクター「さと丸くん」命名

平成22年 2010

⑦ 奈義町口蹄疫予防対策本部設置（宮崎県での感染拡大を受け、岡山県でははじめて設置）

③ 奈義町文化功労賞受賞（高村令子さん）

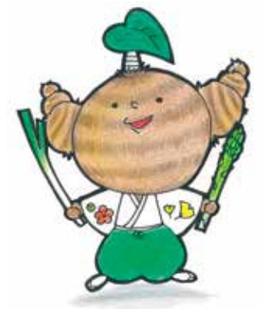
① ウォーキングプール利用者
10万人達成

⑬ 日本原出張所消防ポンプ自動車更新

月	主な出来事
12	⑬ 津山圏域消防組合日本原出張所消防ポンプ自動車更新
	奈義町過疎地域自立促進市町村計画策定

④ 防災行政無線運用開始、災害に強い無線放送へ

⑥ 第57回岡山県消防操法訓練大会出場（本部1号車）



⑫ 奈義町特産農産物キャラクター
「さと丸くん」命名

⑤ 第１回菜の花まつり開催、
中島西地内の町有果樹園地３haに
広大な菜の花畑

平成 23 年

2011

この年のトップニュース

3月11日、M9.0の東日本大震災が発生。大津波が襲い、2万人近い死者・不明者と原発事故で被害甚大。

その他のニュース

東京電力が4県で初の計画停電
サッカーW杯でなでしこJ優勝
大相撲八百長発覚、春場所中止
北朝鮮の金正日総書記が死去
岡山市の林原が会社更生法申請
蒜山焼きそばがB1グランプリ

流行語

「なでしこジャパン」、「絆」、「スマホ」、「帰宅難民」、「風評被害」、「節電」、「どや顔」「どじょう内閣」

第15期町長　花房昭夫氏
（14期～15期、平成19年～平成27年）

第15期議会（平成23年～ 27年）

15年ぶりの豪雪（役場で約50㎝
馬桑では約１ｍを記録）

1 那岐山麓山の駅に遊具設置

3 ユースメゾン奈義完成

5 東日本大震災の被災地へ支援物資・義援金の送金

トラックで被災地に支援物資を運送

4 庁舎駐車場拡張

6 奈義町名誉町民（森忠夫氏）

月	主な出来事
2	1 那岐山麓山の駅に遊具設置
	2 町長・町議会議員選挙
3	奈義町まちづくり総合計画策定（平成23年～平成27年）
	3 若者住宅「ユースメゾン奈義」完成
	4 庁舎駐車場拡張
	東日本大震災
	5 東日本大震災の被災地へ支援物資・義援金の送金
	東日本大震災被災者支援募金（いざなぎカード会）
	多機能情報端末機を各戸に設置
4	住宅用太陽光発電システム設置補助事業開始
	6 奈義町名誉町民（森忠夫氏）
	7 奈義町地域情報通信基盤整備事業光サービス運用開始式
	乳幼児及び児童生徒医療費給付対象の拡大（中学校卒業までの入院外来と高等学校卒業までの入院）
5	8 東日本大震災被災地訪問
5	9 第58回岡山県消防操法訓練大会出場（本部1号車）
	台風2号（37・9ｍ／ｓｅｃ）
6	空き家情報バンク制度運用開始
7	豊沢中央団地分譲開始
	10 那岐山麓山の駅10周年感謝祭
	11 消防自動車ポンプ本部1号車更新（豊沢）
9	12 平成23年度人権教育講演会（渡部陽一氏）
	奈義生き活き体験通学合宿（以後毎年実施）
	台風15号（33・3ｍ／ｓｅｃ）
	13 そば花まつり（平成25年度まで3回開催）
10	総合運動公園多目的広場整備工事
	14 なぎビカリアミュージアム入館者15万人達成
11	多機能情報端末の愛称を「奈義ちゃんねる」に決定
	第16回全国小さくても輝く自治体フォーラムを奈義町で開催
12	第1回なぎっこフェスティバル開催（以後生涯学習フェスティバルと併せて毎年実施）

平成23年 2011

⑦ 奈義町地域情報通信基盤整備事業光サービス運用開始式、町内全域にインターネット網が設備される

⑨ 第58回岡山県消防操法訓練大会出場（本部1号車）

⑧ 東日本日本大震災被災地訪問（福島県新地町）

⑩ 那岐山麓山の駅10周年感謝祭

⑬ そば花まつり、中島西の町有地果樹園約3.7haでそばの花が満開となる

⑫ 平成23年度人権教育講演会（渡部陽一氏）

⑪ 消防自動車ポンプ本部1号車更新（豊沢）

⑭ なぎビカリアミュージアム入館者15万人達成

平成24年 2012

この年のトップニュース

10月８日、人工多能性幹細胞（IPS細胞）を開発した山中伸弥京都大学教授のノーベル医学生理学賞が決定。

その他のニュース

東京スカイツリー竣工、634ｍ
ロンドン五輪で日本最多メダル
岡山県知事に伊原木隆太初当選
岡山市金山寺の国重文本堂焼失
井笠鉄道が井笠バスの事業廃止
新型輸送機オスプレイ沖縄配備

流行語

「ワイルドだろぉ」、「維新」、「終活」、「第３極」、「手ぶらで帰らせるわけにはいかない」、「爆弾低気圧」

⑨ 子どもたちが夢と希望を持ち、健やかに育てる環境づくりをめざした「子育て応援宣言」

主な出来事

月	
1	① トラック型除雪車導入
2	役場庁舎耐震化工事完成
	奈義町内での観測史上最低記録を記録（マイナス15・5℃）
3	町内防犯灯のLED化
	奈義町高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画策定
	② 那岐山麓山の駅にオープンカフェテラス設置
	③ なぎ高原山彩村に農畜産物加工施設「旬工房」完成
	④ 奈義中央広場に屋外ステージ完成
	⑤ 成松川砂防堰堤移設完了
	⑥ テント式倉庫
	⑦ 小型動力ポンプ付積載車第3分団第5部更新（関本）
	⑧ 小型動力ポンプ付積載車第1分団第1部更新（滝本）
4	乳幼児及び児童生徒医療費給付対象の拡大（高等学校卒業まで）
	奈義町不育治療費助成金交付開始
	奈義町地域サロン事業開始
	⑨ 子育て応援宣言
	第56回全日本銃剣道優勝大会優勝（9連覇）（日本原駐屯地代表選手）
5	農事組合法人久常営農組合設立
	⑩ フキヤミツバ（絶滅危惧種）を町内で発見
	⑪ 第59回岡山県消防操法訓練大会出場（第3分団第5部）
8	⑫ 奈義中央広場屋外ステージ「こけら落し」かがり火公演
9	奈義町地域医療ミーティング推進協議会設置
10	第10回全国和牛能力共進会出場（7区肉牛の部第2位）（長崎県佐世保市）（花房芳視氏、鷹取聖氏、國富美喜男氏）
11	⑬ 菩提寺大イチョウライトアップ開始
12	奈義町行財政改革大綱策定（平成25年度～平成29年度）
	⑭ ウォーキングプール利用者15万人達成

③ 農畜産物加工施設「旬工房」

① トラック型除雪車導入

② オープンカフェテラス設置

平成24年 2012

⑤ 成松川砂防堰堤

⑦ 小型動力ポンプ付積載車第3分団第5部更新（関本）

⑥ テント式倉庫を設置

⑩ フキヤミツバ（絶滅危惧種）が町内で発見される

⑧ 小型動力ポンプ積載車第1分団第1部更新（滝本）

⑭ ウォーキングプール利用者15万人達成

⑪ 第59回岡山県消防操法訓練大会出場（第3分団第5部）

⑫ 奈義中央広場屋外ステージ「こけら落し」かがり火公演

④ 屋外ステージ完成

⑬ 菩提寺大イチョウライトアップ

平成25年 2013

1 国道53号奈義町上町川視距改良工事完成

2 馬桑コミュニティハウス完成

3 災害対策として全地区へ野外移動煮炊釜等を貸与

この年のトップニュース

9月8日、2020年第32回夏季オリンピック開催都市が東京に決定。1964年の第18回大会以来56年ぶり。

その他のニュース

美作国建国1300年記念事業実施
富士山が世界文化遺産に登録
書家の高木聖鶴に文化勲章
和食がユネスコ無形文化遺産に
アベノミクスが始動
特定秘密保護法案が成立

流行語

「今でしょ」、「お・も・て・な・し」、「じぇじぇじぇ」、「倍返し」、「ブラック企業」、「ご当地キャラ」

主な出来事

月	主な出来事
3	奈義有機センターの機能保全対策工事（ストックマネジメント事業）完成
	小型動力ポンプ付積載車第1分団第4部更新（中島西）
	1 国道53号奈義町上町川視距改良工事完成
	2 馬桑コミュニティハウス完成
	3 全地区へ野外移動煮炊釜等を貸与
4	法定外予防接取、ロタワクチン、水痘ワクチン、流行性耳下腺炎ワクチン、B型肝炎ワクチンの全額助成開始
	新種の巻貝化石「ナギカワニナモドキ」命名
	4 小学校で二宮金次郎像除幕式
	道州制講演会開催
	5 第57回全日本銃剣道優勝大会優勝（10連覇）（日本原駐屯地代表選手）
	6 美作国建国1300年記念事業楽しさうずまき級！奈義の里NARUTO－ナルト－祭り
4	美作国建国1300年記念事業NARUTO展第1部『ビジュアルで見るNARUTO－ナルト－の歴史』
5	奈義町安全・安心子ども見守隊連絡協議会結成
	7 第60回岡山県消防操法訓練大会出場（第3分団第5部）
6	8 海洋センタープールリニューアル記念式典
7	奈義町風しん予防接種等費用助成事業開始
	9 美作国建国1300年記念事業NARUTO展第2部『NARUTO－ナルト－アニメができるまで』
8	インターネットを利用した選挙運動が可能になる（第23回参議院議員通常選挙）
	10 里芋焼酎「奈義のたま露」
	『特別警報』の運用開始（気象庁）
9	台風18号（33・4m／sec）
10	台風26号（39・1m／sec）
	11 「芋－1グランプリ」（農林業祭）
	勝間田高等学校「わさび田復活プロジェクト」開始
11	12 第1回自主防災組織総合防災訓練

4 小学校で二宮金次郎像除幕式

5 第57回全日本銃剣道優勝大会優勝（10連覇）（日本原駐屯地代表選手）

6 美作国建国1300年記念事業者楽しさうずまき級！奈義の里NARUTOナルト祭り

⑧ シドニーオリンピック競泳女子100m背泳ぎ銀メダリストの中村真衣さんをお迎えした海洋センタープールリニューアル記念式典

⑦ 第60回岡山県消防操法訓練大会出場（第3分団第5部）

⑨ 美作国建国1300年記念事業NARUTO展
第２部『NARUTO－ナルト－アニメができるまで』

12	月
⑬「住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしたい シンポジウム in 奈義」	主な出来事

⑪ 芋煮の味を競う「芋ー１グランプリ」（農林業祭）初開催

⑫ 第１回自主防災組織総合防災訓練
（各地区での炊き出しや、避難所運営訓練が行われた）

⑩ 特産の里芋を使用した
里芋焼酎「奈義のたま露」

⑬「住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしたい
シンポジウムin奈義」

平成 26 年

2014

この年のトップニュース

8月20日、広島市北部で豪雨により大規模な土石流が発生。多数の住宅が流され、死者は74人に上った。

その他のニュース

御嶽山が噴火、死者不明63人
政府、集団的自衛権の行使容認
消費税が5%から8%に増税
岡山市でイオンモール岡山開業
サッカー岡山湯郷ベルが初優勝
エボラ出血熱感染拡大

流行語

「ダメよ～ダメダメ」、「集団的自衛権」、「ありのままで」、「カープ女子」、「壁ドン」、「危険ドラッグ」、「マタハラ」

⑥ 町制施行60周年記念事業LIVE in Nagi
（海援隊、ものまね芸人ホリ）

⑨ 町制施行60周年記念
第33回奈義町ふるさと夏まつり

⑤ 町制施行60周年記念「民謡をたずねて」
NHKラジオ公開録音開催

③ 町制施行60周年・奈義町公共下水道事業完成記念式典

町職員が踊ったソーラン節

⑩ 町制施行60周年記念/奈義町現代美術館開館20周年記念
平井優子（ダンス）×三尾奈緒子（フルート）パフォーマンス

⑪ 町制施行60周年記念！奈義町現代美術館開館
20周年記念「第21回奈義MOCA観月会」
（タテタカコ）

月	主な出来事
2	町内全地区で人・農地プランの策定が完了
	防災のまちづくりフォーラムin奈義
	美作国建国1300年記念事業NARUTO展
	第3部『等身大のNARUTO－ナルトーに触れよう』
3	奈義町特定環境保全公共下水道事業完成
	① 若者住宅「パークサイド奈義」完成
	② 防災備蓄倉庫完成（庁舎1棟、各地区18棟）
4	奈義町育英金貸与制度開始
	消費税率が5%から8%に引き上げられる
	結婚記念証・出生記念証交付開始
	多面的機能支払い制度開始（旧農地・水保全管理支払交付金制度）（町内全地区で取り組み開始）
	③ 町制施行60周年・奈義町公共下水道事業完成記念式典
	④ 奈義町名誉町民（久永茂氏）
4	町制施行60周年記念講演会（片山善博氏）・演奏会
	第58回全日本銃剣道優勝大会優勝（11連覇）（日本原駐屯地代表選手）
5	「菩提寺の大イチョウ」と「阿弥陀堂の大イチョウ」のDNAが一致
6	⑤ 「民謡をたずねて」NHKラジオ公開録音開催
	奈義町水田農業ネットワーク「奈義アグリネット」設立
7	太陽光発電（メガソーラー）事業調印式（サンエジソンジャパンSPC18合同会社）（中島西苗畑跡地）
	⑥ 町制施行60周年記念事業LIVE in Nagi（海援隊、ものまね芸人ホリ）
	⑦ 消防団協力事業所表示証交付（森安建設株式会社、勝英農業協同組合）
8	⑧ 奈義町天然記念物に指定（天明のイチョウ）
	⑨ 町制施行60周年記念第33回奈義町ふるさと夏まつり
9	⑩ 町制施行60周年記念／奈義町現代美術館開館20周年記念 平井優子（ダンス）×三尾奈緒子（フルート）パフォーマンス

1 若者定住促進住宅「パークサイド奈義」

2 防災備蓄倉庫完成（庁舎1棟、各地区18棟）

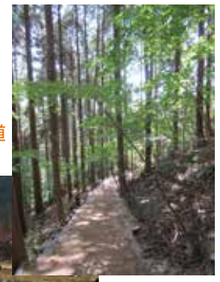
8 菩提寺境内の天明のイチョウを奈義町天然記念物に指定

7 消防団協力事業所表示証交付（森安建設株式会社、勝英農業協同組合）

月	主な出来事
9	11 町制施行60周年記念／奈義町現代美術館開館20周年記念「第21回奈義MOCA観月会」（タテタカコ）
10	12 台風18号（35・1m／sec） 全地区に防災士が誕生
11	12 台風19号（39・7m／sec） 町制施行60周年記念　農林業祭～那岐山麓の恵みまつり～ 13 東山工業団地企業立地調印式（株式会社果実工房） 14 那岐山麓遊歩道開通 15 奈義町伝統文化等研修施設落成記念式典（歌舞伎・太鼓稽古場） 町制施行60周年記念横仙歌舞伎大公演
12	16 奈義町誌第3巻（平成6年度～平成25年度） 町制施行60周年事業『なぎの民話』出版

15 奈義町伝統文化等研修施設落成記念式典（歌舞伎・太鼓稽古場）

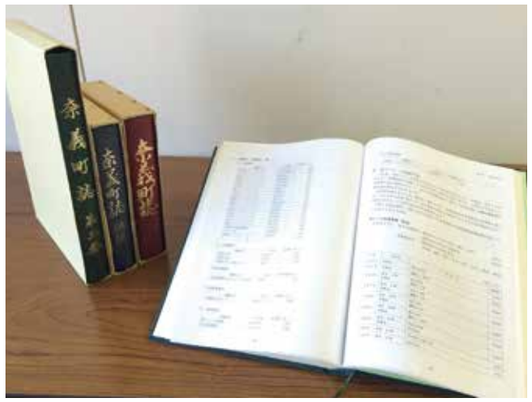
4 奈義町名誉町民（久永茂氏）



那岐山遊歩道

14 那岐山麓遊歩道開通

13 東山工業団地企業立地調印式（株式会社果実工房）



16 奈義町誌第3巻（平成6年度～平成25年度）

12 台風18号（35.1m／sec）・19号（39.7m／sec）

平成 27 年

2015

この年のトップニュース

11月8日、第1回おかやまマラソンが開かれ、全国から1万4000人が参加、多くの県民が沿道で応援した。

その他のニュース

アメリカとキューバが国交回復
真庭バイオマス発電所が完成
スポーツ庁開設
選挙権18歳以上とする選挙法成立
北陸新幹線長野―金沢間開業
ラグビーW杯で歴史的勝利

流行語

「爆買い」、「トリプルスリー」、「一億総活躍社会」、「五郎丸」、「エンブレム」、「ドローン」

② 第16期町長　笠木義孝氏
（16期、平成27年～平成31年）

第16期議会（平成27年～31年）

① 町制施行60周年記念モニュメント除幕式（役場前）

主な出来事

月	主な出来事
1	なぎファミリークリニックに病児病後児保育室「コアラのお医者さん」開所
	大規模太陽光発電所（メガソーラー）起工
	農事組合法人中島東営農組合設立
2	① 町制施行60周年記念モニュメント除幕式
	② 町長・町議会議員選挙
	広報紙発刊700号
3	③ 定住促進住宅「センタービレッジ奈義」を取得
	④ 若者住宅「グリーンビレッジ奈義」完成
	農事組合法人ビカリアの里設立
	奈義町の面積が変わる（69・54㎢→69・52㎢）
	奈義町高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画策定
	奈義町子ども・子育て支援事業計画策定
4	起業者支援事業補助金制度開始
6	民話「さんぶたろう」研究実行委員会発足
6	⑤ さと丸くんLINEスタンプ登場
	⑥ ウォーキングプール利用者20万人達成
7	台風11号（22・7m/sec）
8	⑦ 観光案内所オープン
	⑧ 菩提寺で高石ともやミニコンサート開催
	奈義町畜産クラスター協議会設立
10	国勢調査
	奈義町同窓会支援事業創設
	⑨ 東山工業団地企業立地調印式（ブランケネーゼ株式会社）
	奈義町人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略策定
11	⑩ 奈義町版エンディングノート発行
	マイナンバー通知カード送付
	⑪ 平成26年合計特殊出生率「2・81」達成
	⑫ 奈義町FOS少年団連盟結成50周年記念式典
12	津山圏域クリーンセンター稼働開始
	陸上自衛隊日本原駐屯地充実期成会設立

⑪ 2014年の合計特殊出生率「2.81」達成（同年の全国平均は、1.42）

④ 若者住宅「グリーンビレッジ奈義」

平成27年 DATA

国政調査

人　口	5,906人
男	2,920人
女	2,986人
世帯数	1,978世帯

農林業センサス

農家戸数468戸（兼業農家138戸・第1種兼業農家35戸・第2種兼業農家295戸）農家人口1,706人

⑦ 観光案内所オープン

⑥ ウォーキングプール利用者20万人達成

⑤ さと丸くんLINEスタンプ登場

⑩ 奈義町版エンディングノート

③ 定住促進住宅「センタービレッジ奈義」を取得

⑧ 菩提寺境内で行った高石ともやミニコンサート

⑨ 東山工業団地企業立地調印式（ブランケネーゼ株式会社）

⑫ 奈義町FOS少年団連盟結成50周年記念式典での植樹の様子

平成28年 2016

① 地域医療ミーティング「地域と医師との交流会」、地域医療のこれからや奈義町版エンディングノートについて意見交換

この年のトップニュース

４月14、16日、震度７が二度襲う熊本地震発生。死者273人、全壊家屋8600戸余、熊本城も屋根や石垣損壊。

その他のニュース

マイナンバー制度開始
オバマ大統領が被爆地広島訪問
日銀、マイナス金利を初導入
リオ五輪、過去最多の41メダル
鳥取地震で県北の住宅など被害
全国高校駅伝で倉敷高初優勝

流行語

「神ってる」、「ゲス不倫」、「保育園落ちた日本死ね」、「ＰＰＡＰ」、「ポケモンＧＯ」、「マイナス金利」、「アモーレ」

② 「小さな冬の文化祭」初の３団体共同開催
（こども歌舞伎教室、なぎ昔話語りの会、歌舞伎音座）

主な出来事

月	
1	マイナンバー制度開始
	① 地域医療ミーティング「地域と医師との交流会」
2	② 「小さな冬の文化祭」開催
	第1回なぎタウンプライド構築推進協議会
	ＮＨＫスペシャル「私たちのこれから」（合計特殊出生率２・81）放映
	③ 東山工業団地企業立地調印式（竹本容器株式会社）
3	農事組合法人広岡営農組合設立
	奈義町環境基本計画【改訂版】２０１６
	農産加工施設整備事業補助金、特産品開発事業補助金創設
	津山圏域東部衛生施設組合が解散
4	④ 塩分測定器配布
	出産祝金交付事業拡充（第１子から10万円支給）
	高等学校等就学支援金拡充（６万円／年→９万円／年）
	⑤ 可燃ごみ指定ごみ袋有料化、使用開始される
5	⑥ 小中学校で演劇ワークショップ（平田オリザ氏）
8	⑦ グランドデザイン奈義町模型展示
	菩提寺大イチョウパワースポットコンサート in 菩提寺
	⑧ 町民総踊り「なぎチョイヤッサー」
	⑨ 災害時におけるレンタル機材の優先供給に関する協定締結（三共リース株式会社津山営業所）
	地方創生交付金に２事業が採択（稼ぐ力で自立する、自然とアートの「生涯〝総〟活躍のまち」づくり事業、ＤＭＯがマーケティング＆セールスを担う「小商いクラスター」構築事業）
	⑩ 先端的まちづくりに関する連携協定締結（兵庫県豊岡市）
9	台風16号（30・５ｍ／ｓｅｃ）
	⑪ アート deミートＮａｇｉ初開催
11	活断層帯が公表される（声ヶ山断層、那岐池断層）

③ 東山工業団地企業立地調印式（竹本容器株式会社）

④ 減塩による高血圧などの生活習慣病予防のため、塩分測定器配布（一部負担有）

⑤ 可燃ごみ指定ごみ袋有料化、使用開始される

⑦ グランドデザイン奈義町模型展示（美術館）

⑥ 小学校での初の演劇ワークショップ（平田オリザ氏）

⑧ 町民総踊り「なぎチョイヤッサー」

⑨ 災害時におけるレンタル機材の優先供給に関する協定締結
（三共リース株式会社津山営業所）

⑩ 先端的まちづくりに関する連携協定締結（兵庫県豊岡市）

⑪ アートdeミートNagi初開催

①「幕が上がる」上映会（「ももいろクローバーＺ」高城れにさん、有安杏果さん来町）

②中学校と保育園の建替えについての要望書提出

平成29年

2017

トランプ大統領就任

「米を再び偉大に」

TPP離脱表明へ

首相「日米同盟は不変」

この年のトップニュース

１月20日、トランプ米政権発足。「米国第一主義」を宣言、パリ協定などの国際協調に背を向け、衝撃を与えた。

その他のニュース

将棋のタイトル「王位」を菅井七段が獲得

森友・加計・日報で国会紛糾

「共謀罪」法が可決成立

陸上100mで桐生が初の9秒台

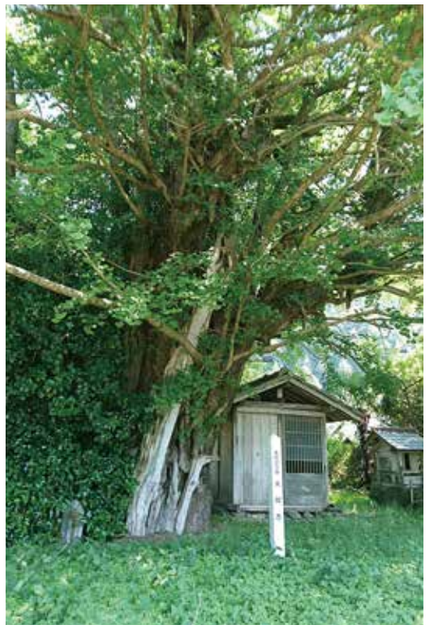
イトーヨーカドー岡山店が閉店

皇室会議で天皇陛下の退位決定

流行語

「インスタ映え」、「忖度」、「35億」、「ひふみん」、「フェイクニュース」、「〇〇ファースト」、「Ｊアラート」

月	主な出来事
1	観光案内所移転（すぱーく奈義管理棟）
	地方創生自由民主党本部で奈義町の取り組みを説明
	タウンプライド・グランドデザイン町民説明会
	①映画「幕が上がる」上映会（「ももいろクローバーＺ」高城れにさん、有安杏果さん来町）
2	②中学校と保育園の建て替えについての要望書提出
3	③大規模災害時等における派遣隊員の留守家族に関する協定締結
	④「阿弥陀堂のイチョウ」岡山県天然記念物に指定
	米海兵隊岩国航空基地部隊訓練受け入れに対する議会決議を議決
	⑤なぎビカリアミュージアム入館者20万人達成
	⑥「今も生きている巨人　伝説 さんぶたろう」出版
	⑦「ロボット×コミュニケーション」ワークショップ（平田オリザ氏）
3	奈義太陽光発電所竣工式



④「阿弥陀堂のイチョウ」岡山県天然記念物に指定

③大規模災害時等における派遣隊員の留守家族に関する協定締結

⑤なぎビカリアミュージアム入館者20万人達成

⑦「ロボット×コミュニケーション」ワークショップ（平田オリザ氏）

⑥「今も生きている巨人　伝説 さんぶたろう」

月	主な出来事
4	津山圏域火災情報メールの配信開始
	⑧しごとスタンド（まちの人事部）オープン
5	民生委員制度創設100周年・児童委員制度創設70周年
	⑨B&G体育館リニューアルオープン記念式典
6	中学校・こども園建設に係るPTA（保護者会）懇談会
	「なぎっこきずなメール」配信開始
7	⑩現代美術館レストラン棟改修完了
	⑪京都賞シンポジウム出演（こども歌舞伎教室）
9	こども歌舞伎教室公演（出石永楽館）
	「小商いマーケットプレイス」着工
	東部衛生施設組合施設解体工事着工
	人材センター事業がまちの人事部へ移行
	第11回全国和牛能力共進会出場（宮城県仙台市）（花房芳視氏、鷹取聖氏、國富美喜男氏）
9	台風18号（32・6m／sec）

⑨ シドニーパラリンピック男子車椅子バスケットボール代表キャプテン根本慎志さんをお迎えしたB&G体育館リニューアルオープン記念式典

⑧ しごとスタンド（まちの人事部）改修完了

⑪ 京都賞シンポジウム出演（こども歌舞伎教室）

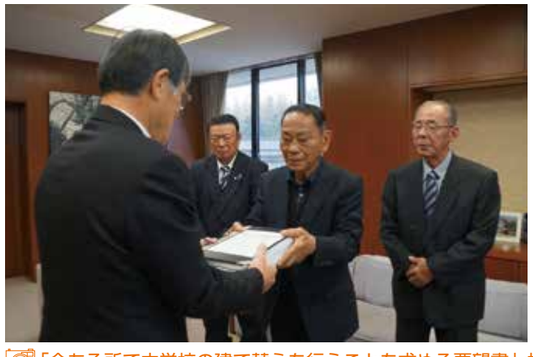
⑩ 現代美術館レストラン棟改修完了

月	主な出来事
10	⑫ 台風21号（46・7m／sec）
	「奈義中学校の建築機能の現況と更新に関する所見」（名古屋市立大学鈴木賢一教授）
11	有限会社みつや操業開始
	⑬ 人口対策国際会議（韓国京畿道）
	岡山・鳥取両県知事会議
	粗大ごみ及び災害廃棄物収集
	奈義町移住体験ツアー
12	⑭ 奈義町文化協会創立30周年記念式典・講演会
	⑮「今ある所で中学校の建て替えを行うことを求める要望書」提出
	奈義中学校創立70周年記念式典

⑫ 台風21号（46.7m／sec）

⑬ 奈義町の子育て施策について人口対策国際会議（韓国京畿道）で講演

⑭ 奈義町文化協会創立30周年記念式典・講演会



⑮「今ある所で中学校の建て替えを行うことを求める要望書」提出

平成30年 2018

この年のトップニュース

7月7日、西日本豪雨で倉敷市真備町を中心に県内各地で甚大な被害。死者・不明64人、家屋全壊4800余戸。

その他のニュース

オウム松本死刑囚らの刑執行
日産自動車ゴーン会長を逮捕
米朝が史上初の首脳会談
野球殿堂入りの星野仙一死去
瀬戸大橋開通30周年
米中貿易摩擦が激化

流行語

「そだねぇ」、「半端ないって」、「ボーと生きてんじゃねーよ」、「なおみ節」、「悪質タックル」、「もぐもぐタイム」

① 幼稚園児専用バス納車式

② 小商いマーケットプレイス（ナギテラス）建物部分完成

③ 小型動力ポンプ積載車更新（第1分団第2部）

④ 交通安全歌舞伎（春の交通安全県民運動）

⑤ 山彩村リニューアルオープンイベント、イートインコーナー新設

⑥ ナギフトカード（ナギフト制度開始）

主な出来事

月	
1	奈義町子育て教育検討会
2	① 幼稚園児専用バス納車式
	奈義町教育改革推進委員会答申書提出
3	② 小商いマーケットプレイス（ナギテラス）建物部分完成
	ドイツARDテレビが奈義町を取材
	第14戦車中隊が善通寺駐屯地へ移駐
	奈義町高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画策定
	第3期障がい者計画、第5期障がい福祉計画、第1期障がい児福祉計画策定
4	③ 小型動力ポンプ積載車更新第1分団第2部（上町川新吉野地区）
	④ 交通安全歌舞伎（春の交通安全県民運動）
	なぎ高原山彩村企業組合設立（旧：なぎ高原山彩村の会）
	国民健康保険が都道府県単位に広域化
	⑤ 山彩村リニューアルオープンイベント
5	⑥ ナギフト制度開始
6	小商いマーケットプレイス（ナギテラス）外構工事開始
	第1回こども園基本構想検討委員会
	第1回中学校基本構想検討委員会
	陸上自衛隊日本原演習場の米軍使用に関する覚書締結
7	東部衛生施設組合施設解体工事完了
	⑦ 平成30年7月豪雨（岡山県初の特別警報）
	包括協定・協力に関する協定書（岡山大学）
	⑧ 那岐（うち）の茶の間オープン記念イベント
	台風12号（22・5m／sec）
8	⑨ 真備町への災害派遣（自衛隊日本原駐屯地）
	⑩ リモコン式エンジン草刈機研修会（奈義アグリネット）
	地域の安全・安心を守る活動等に関する協定書（奈義町消防団、美作警察署）
	台風21号（24・9m／sec）
9	秋の大宵祭り　こども奉納歌舞伎

⑦ 平成30年7月豪雨（岡山県初の特別警報が発令される）

⑨ 真備町への災害派遣（自衛隊日本原駐屯地）

⑧ 那岐（うぢ）の茶の間オープン記念イベント

月	主な出来事
9	台風21号（35・3m/sec）
10	⑪ 米海兵隊単独訓練
11	⑫「第4回環黄海フォーラム（大韓民国）」で子育て支援を発表
	⑬ 奈義町文化功労賞（森藤秀明氏）
	⑭ スケートボード場リニューアルオープン
	⑮ 家畜伝染病防疫研修（役場職員）
	農地等利用最適化推進施策に関する意見書提出
12	奈義町移住体験ツアー

⑪ 日本原演習場で初となる米海兵隊単独訓練

⑩ リモコン式エンジン草刈機の実演（アグリネット研修会）

⑬ 奈義町文化功労賞（森藤秀明氏）

⑫「第4回環黄海フォーラム」で奈義町の子育て支援を発表

⑮ 鳥インフルエンザの発生を想定した家畜伝染病防疫研修（役場職員）

⑭ スケートボード場リニューアルオープン

リニューアルしたとんがりワールドで遊ぶ子どもたち

③ 運動公園遊具更新（とんがりワールド）

② 奈義町消防団に編上靴贈呈

④ 日本原駐屯地へ真備かなりあ保育園から感謝の寄せ書き

① 第17期町長　奥正親氏
（17期、平成31年～）

第17期議会（平成31年～）

⑤ 奈義町文化功労賞（菅原直樹氏）

平成31年／令和元年

2019

この年のトップニュース

平成の天皇陛下が４月30日退位、翌5月1日、新たに皇太子徳仁親王が天皇に即位、令和の時代が始まった。

その他のニュース

テニスの大坂なおみが世界一に
大リーグのイチローが現役引退
消費税10%スタート
渋野日向子が全英オープン優勝
宇高連絡船が109年の歴史に幕
沖縄・首里城が全焼

流行語

「キャッシュレス」、「ポイント還元」、「ONE TEAM」、「軽減税率」、「免許返納」、「計画運休」、「しぶこ」

主な出来事

月	
1	敦賀市民間最終処分場訴訟終結（和解）
	⑥ 町長・町議会議員選挙
2	奈義町通所付添サポート事業「なぎサポ」開始
	② 編上靴贈呈（奈義町消防団）
3	③ 運動公園遊具更新（とんがりワールド）
	④ 陸上自衛隊日本原駐屯地へ真備かなりあ保育園から感謝の寄せ書き
	文化庁芸術選奨新人賞受賞（菅原直樹氏）
	⑤ 奈義町文化功労賞（菅原直樹氏）
	奈義町立奈義中学校の建て替えを遅滞なく進めることを求める決議を議決
	奈義町地域福祉計画策定
4	⑥ ⑦ 多世代交流広場ナギテラスオープン
	奈義町住宅リフォーム補助金創設
	奈義町火葬補助金創設
	店舗改修事業補助金創設
4	「なぎバス」運用開始（美作、勝央方面）
	広報なぎ750号発刊
	⑧ 第63回全日本銃剣道優勝大会優勝（日本原駐屯地代表選手）
5	元号が「令和」となる
	磯崎新氏「米ブリツカー賞」受賞（奈義町現代美術館・奈義町立図書館設計・プロデュース）
6	奈義中学校基本構想策定（中学校基本構想検討委員会）
	こども園の建設候補地選定（奈義中央広場南側駐車場）
	⑨ 那岐ピークスタフトレイル・チャレンジ2019開催
7	奈義町こども園基本構想策定（奈義町立こども園基本構想検討委員会）
	⑩ 開館25周年記念バッグ（奈義町現代美術館、奈義町立図書館）
	さと丸乗り合い交通実証運行開始（デマンド式乗り合い交通）
	行政懇談会スタート
	⑪ 公害防止協定締結（㈱エムテック）
	「まちづくり総合計画」・「まち・ひと・しごと創生総合戦略」素案策定委員会

⑧ 第63回全日本銃剣道優勝大会優勝（日本原駐屯地代表選手）

⑦ 外構工事が完成したナギテラス

⑥ ナギテラス内「みんなの庭」の芝張りワークショップ

⑨ 全国から約500人のランナーが集合した那岐ピークス タフトレイル・チャレンジ2019

月	主な出来事
10	消費税率が8％から10％に引き上げられる
	保育園（3歳児以上）保育料無償化・幼稚園利用料無償化
	奈義町生活環境等と太陽光発電設備との調和に関する条例施行
	自動車急発進防止装置整備補助金創設
	特殊詐欺等の防止対策機器設置補助金創設
	奈義町教育委員会と岡山理科大学生物地球学部の教育研究に関わる包括的連携・協力に関する協定締結
	⑫ 台風19号（40m／sec）
	⑬ テレビ取材（日本テレビ「世界一受けたい授業」）
11	奈義町行財政改革大綱答申

⑩ 開館25周年記念バック
（奈義町現代美術館、奈義町立図書館）

⑪ 公害防止協定締結（（株）エムテック）

⑫ 菩提寺の大イチョウも被害を受けた
台風19号（40m ／ sec）

⑬ 奈義町の子育て施策についてテレビ取材（日本テレビ「世界一受けたい授業」）

特集 新聞で見る 奈義町の15年

豊かな自然 家族ら〝体汗〟

存分に農山村体験 黒豚など特産品に舌鼓

きらり 奈義町

町制施行50周年

営々と築かれた歴史と文化

江戸の息吹今に

揺るぎない進展を

〝ユニーク〟な外観

化石採掘に大歓声

柿で町おこし

町民手づくり

2004（平成16年）
10月16日 山陽新聞朝刊掲載

広戸風 つめ跡深く

奈義、勝北

2004（平成16年）
10月22日 山陽新聞朝刊掲載

銃剣道

1980年から正式種目

みまさか 秋季国体観戦ガイド⑧

2005（平成17年）
10月20日 山陽新聞朝刊掲載

「財政 恩恵大きい」「不安」

日本原で日米共同訓練実施へ

地元住民から賛否

背景に補助金依存

対策委に判断一任

2005（平成17年）
12月21日 山陽新聞朝刊掲載

50年の歴史に幕

奈義中央幼稚園で閉園式

園児ら遊具とお別れ

2006（平成18年）
3月19日 山陽新聞朝刊掲載

陸自日本原演習場 初の日米共同訓練

山間の町に緊張感

2006（平成18年）
2月25日 山陽新聞朝刊掲載

奈義町長に花房氏

無投票で初当選 町議選は12人立つ

任期満了に伴う奈義町長、町議選は十日告示、無投票で初当選の知らせを受けた花房氏は、午後六時から、人々が前回町政の運営事務所で、詰めかけた支持者約四百人（事務所発表）とともに、万歳三唱の初当選を祝った。

花房氏は、「合併せずともやっていけるよう、住民が安心して暮らせるまちを実現したい」と述べ、三期務めた町長を引退する中井孝夫町長の意思を継ぐ形で出馬を決めたという。

そのうえで、「住民と協働を基調に、行財政改革や少子高齢化対策などに一つ一つ取り組む」と抱負を述べた。

町議選（定数一〇）には現職四人、元職一人、新人七人の計十二人（元議長一人、無所属十一人）が立候補、少数政策で、五日間の選挙戦をスタートさせた。

町議選の投票は二日午前七時から午後六時まで町内六カ所であり、同日午後から同町農業委員会の有権者数（二千九百現在）は五千四百四十六人（男二千六百八十六人、女二千七百六十人）。（松島健）

万歳で初当選を喜ぶ花房氏（左から2人目）

花房 昭夫氏（はなぶさ・あきお）＝1943年奈良県出身。農業。保健福祉委員長、議長、中堅。

◇奈義町議選立候補者◇

（届け出順、定数10－立候補12）

氏名	年齢	所属政党	現元新の別	丸数字は世襲回数	職業の順
芦田 一雄	62	無新	自	1	農業
桑原 政憲	64	共産	無	3	農業
小椋 四郎	57	無新	自		農業
葉井 忠義	71	無現	自	2	農業
安藤 栄一	61	無新	自		農業
小室谷 進	61	無現	自	4	農業
井戸 眞一	62	無現	自	1	農業
国富 安夫	71	無元	自	3	農業
岡 現佐	59	無新	自		農業
鷹取 浅吉	59	無新	会社		役員
松原 義安	62	無新	自		農業

2007（平成19年）

1月31日 山陽新聞朝刊掲載

稲飼料と堆肥 農家が相互提供

「耕畜連携」を本格推進

岡山県 コスト高騰に対応

楊渡し

岡山県は本年度、稲作農家と畜産農家を橋渡しし、堆肥を相互提供する「耕畜連携」を本格化させる。原油高で運賃がかさみ、輸入牧草が高騰する中、自給率を高めて畜産の飼料コストを抑制、稲作農家にとっては転作扱いとなるため、米の生産調整も進める。

稲発酵粗飼料は輸入牧草より安い。

計画では、市町村や国が農家を通じて稲作農家に稲発酵粗飼料を呼び掛け、農業機械（一ヘクタール約三千万円）を積んでもらう。

農家は、児島湾干拓地など南部の大規模水田と、中北部の乳・和牛農家との連携を主に想定する。畜産農家は運搬の半額を補助。併せて近隣農家同士のマッチングも推進する。

稲発酵粗飼料に取り組む農家には、国や県、市町村が補助を充実させており、地域によっては主食用米と同程度の収入が得られる。今年は岡山、津山市、矢掛町などで計百二十一ヘクタールを植え付ける。

農家の意向を示している。

県は「輸入牧草だけの確保は不安定」と、国産の確保を目指す。（篠元俊一郎）

稲発酵粗飼料のラッピング作業

稲発酵粗飼料

2008（平成20年）

6月29日 山陽新聞朝刊掲載

奈義・吉野神社 台風で折れた町天然記念物

驚き!! 巨大杉切り株 直径2.2メートル、重さ300キロ

黒籔さん寄贈 町文化センター展示

奈義町の天然記念物に指定され、一年前に倒れた吉野神社（同町中島西）の大杉の切り株が町文化センター（同町豊沢）に展示され、来年の一般公開に向けて、来場者の話題になっている。

杉は同神社の境内で樹齢三百五・二メートルの巨木だったが、二〇〇四年一月の台風の影響により、地上約十五メートルで折れた。

神社関係者から依頼されて杉を買い取った同町行方の自営業黒籔光さんさんが五月、「町の代表的な文化財を保存して」と根付近を新に寄贈。同センターが八月末から展示を始めた。

切り株は直径最大二・二メートル、重さ約三百キロ。約三百七十の年輪があり、同センターを利用する子どもたちが物珍しそうに巨大な切り株を覗き込んでいる。

黒籔さんは「空洞部分はムサビのすみかになっていたらしい。多くの人に奈義の歴史を伝える『恵み』を見てもらいたい」と話している。（鍵谷茂光）

展示されている大杉の巨大切り株

2007（平成19年）

9月7日 山陽新聞朝刊掲載

消防庁長官表彰の奈義町消防団

町長に喜びを報告

二〇〇六年度の消防庁長官賞を受けた奈義町消防団の岸本省吾団長（56）が二十三日、表彰旗を手に町役場（同町豊沢）を訪れ、花房昭夫町長に喜びを報告した。

同表彰は消防力の強化などに努めた消防機関に授与されるもので、同町消防団は「これまでの消防法大会の好成績や地域ぐるみの防火意識が評価されたと思う。」と話している。

厚本団長は鮮やかな青色の表彰旗を花房町長に授与し、「大変、名誉なことです。今後も三百五十人の団員が一丸となり地域の安全、安心をまもりつづけ自覚していきたい」と話していた。（松島健）

表彰旗の前で握手をする岸本団長（左）と花房町長

2007（平成19年）

3月27日 山陽新聞朝刊掲載

マンサク群生地再生を

奈義 皆木地区 苗木育て植栽進める

業枯れが進む県内最大規模のマンサクの群生地・奈義町皆木地区で、観光客でにぎわったかつての美しい景観を取り戻そうと、地元住民らが再生事業に取り組んでいる。

マンサクはマンサク科の落葉低木。同地区の群生地は県郷土記念物に指定され、自生する約二千本が二、三月には黄色い花を咲かせ、大勢が観賞に詰めかけていた。しかし、二〇〇〇年ごろから原因不明の葉枯れが進行。開花時期に開いていた「まんさく祭り」も〇二年から中断状態。今では、半分以上が開花しなくなっている。

このままでは『地域に植栽し育てる活動を』を失う」と危機感を抱いた住民らが立ち上がり、〇三年から住民ら約三十人が参加、急傾斜を登りながらまず同年、県の補助を受け、被害のない木から取った種で苗木約五百本を育成。その苗木を〇七年から三年計画で、群生地だった場所に植栽した木の根が活着するまでに数年～十年前後かかるとされる。住民らは苗木の栽培をはじめ、植栽した木の活着も年間を通じ交代で担当。同地区区長代理の皆木治さんは「苗木も植栽した木も順調に育って有り、手応えはある。一年も早く昔のように近づけ、美しい花をみんなで楽しむ祭りも復活させたい」と話している。（近藤哲也）

マンサク群生地の再生を目指し、苗木を植栽する住民ら

2008（平成20年）

12月28日 山陽新聞朝刊掲載

郷土の偉人 井戸博士顕彰

黄疸出血性レプトスピラ病原因解明

黄疸出血性レプトスピラ病（ワイル病）の原因を突き止め、日本学士院恩賜賞を受けた医学博士、井戸泰・元九州帝大教授（1881～1919年）の遺品などを集めた常設展示場が、郷土・奈義町の町文化センター（同町豊沢）に開設された。（近藤哲也）

井戸泰博士の遺品などを集めた常設展示場＝奈義町文化センター

常設展示場 奈義に開設 恩賜賞賞牌や研究資料

ズーム 黄疸出血性レプトスピラ病 ネズミなど野生動物の排せつ物に汚染された水や土壌から人間に感染し、高熱、肝臓・腎臓障害を起す。ワイル・ワイルが1886年発表した。当時、九州で炭鉱労働者が多く発症するなど、日本各地でも流行した。

井戸博士は旧勝田郡北吉野村（現奈義町）出身。福岡医科大（九州帝大、九州大の前身）卒業後、第一内科に入局。当時、致死率が高く、原因不明の風土病と恐れられていた九州の稲田地帯に派遣され、ワイル病を原因の稲田の風土病と恐れられていた井戸博士の業績や遺徳を顕彰し、後世に伝えてほしい―と二〇〇八年春、町に提案した。

展示しているのは、井戸博士の孫で津山市で内科医院を開業している井戸清仁院長から提供されたゆかりの品など約四十点。恩賜賞賞牌、愛用のシガレットケースをはじめ、九州大から借りた胸像や実習時などの写真、研究資料。年、帝国学士院（現日本学士院）恩賜賞を受賞、その後、九州帝大医学部教授に就任した。三十七歳で早世したが、世界的な細菌学者として注目され、野口英世の研究から誕生したことを広めるにも影響を与えたという。

展示場の設置は、同町出身の日本伝統医薬科学大学院大学（東京）の浅野勝己教授が、町民でもある。

全戸に火災警報器

奈義町 設置義務化で 無料配布始める

2011年6月末まで27日、町内すべての約2100戸に設置の煙で報器設置が義務化され料配布と設置作業を始めたのを受け、奈義町はめた。町によると、全世帯無料配布は県内初で、全国でも珍しいという。

6月に制定した「安心安全まちづくり条例」を受けた事業で、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金約400万円を充てた。

消防法改正で一般住宅の設置が義務化され、11月中に町内19地区の代表者らを通じて配り、取り付けが難しい高齢者宅などは、地区の消防団員が設置する。

初日は、同町豊沢の地区世話人・森安伸行さん（62）が、依頼を受けた高齢者宅を消防団員2人と訪問。団員がドリルで壁を穴あけの柱に器具を固定し、音量の確認などをした。

花房昭夫町長は「高齢者の一人暮らしも多く、身近なところから心安全まちづくり条例」を受ける取り組み。他の自治体でも機運が高まれば」と話している。

火災警報器は06年の消防法改正で一般住宅の設置が義務化され、既存住宅も11年5月末までに対応が求められている。（近藤哲也）

高齢者宅を訪れ、火災警報器を取り付ける消防団員

2009（平成21年）

10月28日 山陽新聞朝刊掲載

見渡す限り一面菜の花

奈義の果樹園 那岐連峰と見事に調和

見渡す限りの「黄色いじゅうたん」―。奈義町中島西の果樹園を、一面の菜の花が彩っている。抜けるような青空や、季節外れの寒波とうっすらと雪化粧をした那岐連峰と見事なコントラストを描いている。（近藤哲也）

同園は昨年から、菜の花を活用した農業振興「菜の花プロジェクト」に取り組んでいる。昨年9、10月に町が管理する果樹園の遊休地約3ヘクタールを2回に分けて「ななしき畑」という品種の種約50キロをまき、今はその3分の1が満開を迎えている。

11日から一般開放され、駐車場を設け、畑の中を歩けるようになる。同日は園内で「菜の花まつり」を開き、町特産の黒豚料理などを販売する。花は4月末まで咲くが、11日から2週間が一番の見ごろという。

6月には菜種油を採取し、町営の観光施設「那岐山麓山の駅」のレストランで使う。廃油は回収してバイオディーゼル燃料（BDF）を精製し、公用車の燃料などに使う予定。

問い合わせは町産業振興課（0868-39-4114）。

青空や那岐連峰と見事なコントラストを描く菜の花畑

2010（平成22年）

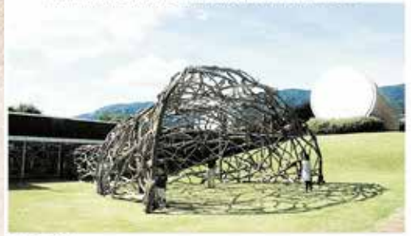
4月1日 山陽新聞朝刊掲載

巨大な「奈義の耳」

町現代美術館に流木オブジェ

立体造形作家 岡部さん（横浜市）作

奈義町現代美術館の芝生広場に完成した流木オブジェ



那岐山麓に流木で巨大オブジェ。立体造形作家の岡部玄さん（62）＝横浜市隼人＝が、奈義町豊沢の町現代美術館に、人間の耳をイメージしたオブジェを完成させた。県内在住の空間アート作家6人が、「第25回国民文化祭・おかやま2010」（10月30日～11月7日）の現代美術会場となっている同美術館に制作する6作品の一つ。

タイトルは「奈義の耳」。美術館から生えた耳が、そよ風や鳥のさえずりなど自然の音に聞き耳を立てるイメージ。間口は高さ約6メートル、奥行き約25メートル。横約8メートル。間口から徐々に狭くなるラッパ状の独特のフォルム。

約20年かけ山形から鹿児島まで18県の海岸で拾い集めた長さ1・4メートル約千本を使用。21日から約1週間かけ、ボランティアら5～9人と炎天下で作業。いびつな形の流木を巧みに組み合わせ針金で固定した。

岡部さんは「流木が生命を吹き込まれたがっているか、美術館や周囲の自然と対話しながら仕上げた。見る人なりに何か新鮮な印象を感じてもらえたら」と語る。手伝った岡山大大学院2年の高山尚子さん（23）は「大まかな設計図はあるが、その時々の感覚で設計が変わっていくのが面白かった」と振り返っていた。（近藤哲也）

国民文化祭 おかやま 2010

2010（平成22年）
8月29日 山陽新聞朝刊掲載

特産サトイモPRキャラ かわいい名前付けて

奈義町の名募る

奈義町は、町特産のサトイモをPRするマスコットキャラクターの名前を募集している。「みんなが親しめるかわいい名前を付けて」と呼び掛けている。

町の伝統芸能・横仙歌舞伎の役者をイメージした2等身の愛らしい武士がモチーフ。頭に白ネギとデスパラガスを持った「万歳」羽織に、町花の梅とスイセンがあしらった。

那岐山麓は「黒ぼこ」と呼ばれる保水力に優れた火山灰土が広がり、粘り気の強い高品質のサトイモができる。町は4月から、那岐山麓山の駅に取り入れる新メニュー作りなど特産化に向けた研究を進めている。

奈義町のサトイモPRのために作られたマスコットキャラクター

産業振興課にある指定の応募用紙で19日までに申し込む。採用者には記念品がある。問い合わせは同課（0868・4114）。（近藤哲也）

2010（平成22年）
11月18日 山陽新聞朝刊掲載

全戸へ光ファイバー網

奈義町で運用スタート

高齢者安否確認 災害情報の伝達 防犯、防災に活用

多機能情報端末のテレビ電話を利用する住民

奈義町の全戸を光ファイバーでつなぐ「町地域情報通信基盤整備事業」が完了し、4月から運用が始まった。高速大容量のインターネット、IP電話の利用が可能になり、都市部並みの情報環境が整った。町は高齢者の安否確認や災害情報の伝達、子どもの見守りなどにも活用し、安全・安心の町づくりに役立てる。（近藤哲也）

中山間地域で過疎化が進む奈義町は、民間による情報網整備が進まず、パーを引いた世帯の5割近くがインターネット加入。多くの町民が高速ブロードバンドを活用している。

町は、テレビ電話付き多機能情報端末を町内の世帯や事業所の9割以上の2085戸に貸し出して設置。朝と夜2回、役場からの定時情報を音声とテロップで流しているほか、災害時は避難情報などを伝える。聞き逃した放送は呼び出しで確認できる。町政に関心を向けてもらおうと、町議会の本会議も中継する。

光ファイバー網を使った高齢者の安否を確認するための緊急通報システムも導入。ペンダント形のスイッチを押すと登録した相手に通報され、手に持たずに通話できるハンズフリーに切り替わる。

さらに、町内の河川や学校、公園へ光ファイバーにつないだ防災・防犯用カメラ16台を設置。大雨時に役場の防災本部で河川の水位を見ながら、町民の情報端末に避難指示などを出せるほか、映像を確認することで子どもの見守りに活用できる。花房昭夫町長は「町にとって大きな発展。企業誘致や定住促進にもつなげたい」と話している。

2011（平成23年）
4月22日 山陽新聞朝刊掲載

災害時、町村間で支援

奈義「全国小さくても輝く自治体フォーラム」

100人参加 アピール採択し閉会

「全国小さくても輝く自治体フォーラム」の講演会

奈義町豊沢の町文化センターで開催された「全国小さくても輝く自治体フォーラム」は2日目の6日、東日本大震災を受けて、小規模町村間で災害時の相互支援ができる仕組みづくりに取り組むことなどを盛り込んだアピールを採択し、閉会した。（近藤秀孝）

全国から約100人が参加。アピールでは、震災で自治体間の日常的な交流に基づく連携の必要が明らかになったとし、相互支援協定などの重要性を訴えた。環太平洋連携協定（TPP）については地域経済社会に重大な影響をもたらすとし、交渉参加への懸念を示した。

また、広島、島根県の中山間地域振興に取り組むNPO法人「ひろしまね」の安藤周治理事長が「住民がつくる『もう一つの役場』」と題して講演。「少子高齢化が進み、小規模高齢化集落になると集落運営に限界がある。行政は地域の隅々まで目が行き届かなくなっている面があり、行政に代わって公的サービスを提供する新たな組織づくりが必要だ」と述べた。

福島県大玉村の浅和宏次村長による福島第1原発事故の状況についての報告もあった。

フォーラムは「平成の大合併」に加わらなかった奈義、勝央町、新庄、西粟倉村など全国54小規模自治体や大学教授らでつくる第2回フォーラムの会が主催し16回目。次回会合は来年5月、北海道東川町で開催する。

2011（平成23年）
11月18日 山陽新聞朝刊掲載

子育て新施策 懸垂幕でPR

奈義町役場

奈義町役場に掲げられた子育て支援をアピールする懸垂幕

たな子育て施策を導入する奈義町は30日、町民らに「子育て応援宣言す」とあいさつ。園児らがひもを引いて懸垂幕が披露されると、大沢の町役場に掲げた。

懸垂幕（縦10メートル、横1・2メートル）には「子育てするなら奈義町で!!」などと書かれ、笑顔の母親が子どもを抱く姿と、手にハートを持つ町のマスコットキャラクター「さとたくん」のイラストがあしらわれている。

この日は、奈義保育園（同所）の園児や職員ら約100人が参加してセレモニー。花房昭夫町長が「子どもは宝。奈義町はこれからの時代を担う皆さんを支えていきます」とあいさつ。園児らがひもを引いて懸垂幕が披露されると、大きな拍手がわき起こった。延原孝・町健康福祉課長が「子どもたちの元気な声と笑顔があれば、喜びを実感できる」と、地域全体で子育てを支えるまちを目指す」との宣言を盛り込んだ。

同町は2012年度、高校生の通院医療費を無料化。これまで高校入学時に支援金5万円を支給していたが、12年度からは高校在学時に毎年5万円を支給する。（亀井良平）

2012（平成24年）
3月31日 山陽新聞朝刊掲載

街灯LED化完了

奈義町 コスト削減へ736基

奈義町内に設置されている発光ダイオードの防犯灯

奈義町が取り組んでいた町内の蛍光灯街灯の発光ダイオード（LED）への取り替え工事が完了した。対象となったのは736基。町によると電力消費量は約6割減少、1基当たりの電気代は年間約1400円安くなるという。

地球温暖化防止や東日本大震災に伴う消費電力の削減が狙い。ふるさと納税と町への寄付金から活用した。事業費は1300万円。

同町には蛍光灯街灯が約880基あり、83基は既に交換、個人所有の街灯などを除く736基を交換した。

人や車が通ることより明るくなる自動点灯時付き。町内の街灯は約1110基。水銀灯とナトリウム灯計約230基のLED化は当面見送る。

高齢者の暮らしやすい町を目指したい」としている。（亀井良平）

2012（平成24年）
6月23日 山陽新聞朝刊掲載

ナギカワニナモドキ

奈義町の約1600万年前の地層から発見された新種の化石『ナギカワニナモドキ』

岡山県奈義町柿の化石博物館「なぎビカリアミュージアム」は17日、町内の約1600万年前の地層から、東南アジア産に生息する巻き貝・スルコスピラ属の新種化石が見つかったと発表した。同館によると、同属の化石の中では世界最古。形がカワニナに似ていることから「ナギカワニナモドキ」と命名した。（亀井良平）

巻き貝の新種化石

岡山・奈義 1600万年前地層で発見

スルコスピラ属化石の発掘例は世界でも少なく、日本では初。インドネシアの▽貝の先端が鋭い▽などの特徴から新種と断定された。

大小2個あり、一つは長さ2・3センチ、幅1センチで、日本古生物学会特別会員の田口栄次さん（57）＝新見市＝が昨年3月、同館の所蔵品の中から見つけた。もう一つは長さ1・8センチ、幅0・9センチ。同館の柴田守館長（76）が同9月に博物館敷地で発見した。

貝類の化石に詳しい松岡敬二・豊橋市自然史博物館学芸員（古生物学）に鑑定を依頼したところ、らせん模様の間隔が一定でないなどの特徴から新種と断定された。

約1600万年前は日本海が誕生し、日本が中国大陸から離れて列島となった時期。岡山県北部は浅い海が広がり、河口付近にはマングローブが茂るなど熱帯環境を裏付ける貴重な発見としている。

なぎビカリアミュージアムで一般公開している。

2013（平成25年）
4月18日 山陽新聞朝刊掲載

奈義にNARUTO参上

複製原画展始まる

美作国建国1300年

複製原画などに見入る来場者ら

岡山県奈義町出身の漫画家岸本斉史さんのヒット作「NARUTO」に漫画の連載が始まって以来、岸本さんの地元での展覧会は初めて。

複製原画は、主人公・うずまきナルトが幼いころ、母親に抱きしめられる場面などの9点。岸本さんが書いたページ数などのメモが飛に残されたものもあり、ファンらが興味深そうに見入っていた。

キャラクターの等身大人形や2002年のテレビ放送開始からの番組ポスターなども並んでいる。津山市高野山西、近藤俊さん（32）は「漫画を子どもの頃から読んでいる。出版前の複製原画が見られ、感激した」と話していた。

美作国建国1300年記念事業として町が企画。来年3月までの3部構成で、第1部の今回は7月15日まで。第2部は7月21日～9月29日、第3部は来年2月15日～3月16日。

午前9時半～午後5時。一般・大学生200円。高校生以下と75歳以上は無料。祝日を除く月曜休館。問い合わせは、同美術館（0868・38・2811）。（亀井良平）

2013（平成25年）
6月1日 山陽新聞朝刊掲載

作州地域の7人と県民局長　奈義で地歌舞伎公演

町村長ら「八人男」熱演

地歌舞伎を熱演する美作地域の町村長ら

お国自慢盛り込み口上

美作国建国1300年を記念し、作州地域の町村長7人と美作県民局長が17日、奈義町豊沢の町文化センターで開かれた東作州地歌舞伎公演・横山歌舞伎大公演で名乗り口上を盛り込んだ今回限りの「美作八人男」を熱演した。（近藤秀孝）

節目の年を盛り上げようと町村長が自ら発案。盗賊が捕り手と大立ち回りを演じる「白浪五人男」を基にプロ演出家が約20分の台本に仕上げ、10月上旬から稽古を重ねてきた。

紫色の着物姿の8人は傘を手に登場。県民局長は美作地域、各町村長は「朋かけ二蔵（美咲町）、「金太郎（勝央町）、「がいせん桜」（新庄村）といった各地の特産品や観光地を盛り込んだ口上で名乗りを上げた。

約500席の客席は大入りで立ち見が出るほど。「よっ○○屋」「日本一」と掛け声がかかり、首長らの立ち回りには大きな拍手が送られた。せりふを間違えて立ち回りを演じる「白しまった場面では笑いに包まれた。

演じ終えた美作市大町のアイ（60）は「すてきだった。出演者と観客が一つになって楽しめた」と喜んでいた。

出演した花房昭夫奈義町長（東作州地歌舞伎保存協議会長）は「超満員でありがたかった。稽古の時間がなかなかとれなかったがますますの出来」と話していた。

美作国 建国1300年

■本社HPに動画

2013（平成25年）
11月18日 山陽新聞朝刊掲載

岡山・奈義町が進出企業募集

工業団地2区画 実質無料で分譲

土地代を県と全額助成

岡山県奈義町は、バブル期に造成した作州東山工業団地（同町柿、西原）を実質無料で分譲することにし、進出企業の募集を始めた。売れ残っていた2区画（5万3800平方㍍）の土地代1億3800万円を、同町と岡山県で補助する。日本立地センター（東京）によると、自治体が工業団地の土地代を全額助成するのは全国でも珍しいという。

10人以上を雇用する製造業など内に操業することが条件。操業で、本年度中に申し込み、2年以後に町が土地代の88・5%分、県が11・5%分の補助金を出す。

県内の工業団地の土地代に対する補助制度は、これまで、新見市の93%（市70%、県23%）が最高。同町は土地代を実質ゼロにしても就労の場を確保した方が、定住人口の増加につながると判断、助成金の交付要綱を6月に改正し、町の補助率を従来の20%から一気に引き上げた。

同団地は1991年度に完成し、14社が操業中。当初は順調に分譲が進んだが、2000年以降は11年に1社立地したのみ。近隣の工業団地と比べて高速道路のインターチェンジから遠く、誘致が難航していた。

奈義町総務課は「大胆な補助制度をアピールして早期完売を図ることで、地域の活性化につなげたい」としている。（長田憲司）

就労の場確保を優先

2014（平成26年）
7月9日 山陽新聞朝刊掲載

「これからも力強く」

奈義町制60周年祝う

奈義町の町制60周年を祝った記念式典

奈義町は8日、町制60周年記念式典を同町豊沢の町文化センターで開き、町内外から約400人が参加して節目を祝った。

花房昭夫町長は「1965年には陸上自衛隊日本原駐屯地が設置され、自衛隊との共存共栄の町として歴史を重ねてきた。住んでよかったと思えるまちづくりに向け、これからも力強く歩んでいく」とあいさつ。福祉、産業、教育など各分野で町政に貢献した98個人・団体に感謝状や表彰状を贈った。

奈義町は1955（昭和30）年2月に豊田、豊沢、北吉野の3村が合併して発足「平成の大合併」では合併しないことを決め、単独町制を続けている。同町発足時に9219人だった人口は今月1日現在、6147人。（近藤秀孝）

2014（平成26年）
4月9日 山陽新聞朝刊掲載

定住促進住宅いかが

奈義町 入居者募る　単身や大学生OK

入居者を募集している定住促進住宅の室内

奈義町は、同町豊沢らの転入者を優先し、の旧雇用促進住宅をリ単身者や大学生の入ニューアルした「定住居も可能にしている。促進住宅」の入居者を募集している。定住人口増を目的に町外か定。5階建てが2棟あり計60戸。いずれも3DK（53平方㍍）で浴室とトイレは分かれ、家賃は月2万2千～3万円。駐車場は1台分が無料、2台目から月2200円。企業が社宅として借りることもでき、千円。その際の家賃は年24万円。敷地内には滑り台やブランコなどの遊具もある。

入居者の年齢や現住所地、世帯人数などに制限はないが、町内のアパートや町営住宅から世帯での引っ越しは不可。申し込みは毎月末に締め切り、適宜になるまで受け付ける。

1992年に建築された雇用促進住宅の購入や修繕費用は約45億円。国勢調査によると、町の人口は2005年が6475人で、10年は6085人と減少している。町総務課は「町中心部にあり、診療所や学校にも近く生活環境はいい。子育て世代や移住者にも利用してもらえるようPRしていく」としている。申し込み、問い合わせは同課（0868㈹4111）。（木村俊雄）

2015（平成27年）
1月17日 山陽新聞朝刊掲載

誤りなく町政運営を

奈義町長、町議に当選証書

奈義町選管は9日、町長・町議選（3日告示、8日投開票）の当選者に当選証書を付与した。（26面関連）

同町豊沢の町役場で町長選に身が引き締まる。町議投票で初当選した元町教育長の笠木義孝氏と、新町議10人が出席。連佛修選管委員長が「町民の負託に応え、誤りなく町政運営がなされることを願います」とあいさつし、一人一人に証書を手渡した。

式後、笠木氏は「あらためて責任の重さを感じる。町民の期待に応えて頑張る」と決意を述べた。11人による少数激戦を勝ち抜いた新町議は、互いに健闘をたたえ合うなどしていた。

連佛選管委員長（手前）から当選証書を受け取る笠木氏

新町長、新町議の任期はともに15日から4年間。（木村俊雄）

2015（平成27年）
2月10日 山陽新聞朝刊掲載

子育て支援の成果実る

奈義町合計特殊出生率上昇　他自治体へ示唆

奈義町が24日発表した2014年の合計特殊出生率「2・81」は、不妊治療の助成、乳幼児親子が集える常設広場の設置などに取り組んできた成果が表れたとみられる。（30面関連）

人口増の60人になったことも言える。

町は今年に入ってから母数となる15～49歳女性が926人と前年（925人）とほぼ変わらず、出生数が17人増の60人になったことが大幅アップの要因。一時的な側面はあるものの、町が出産を控えた妊婦に対し、単身者でも月額2万円台で入居できるようにした。これらの施策は今回の数値には反映されていないが、15年以降の結果に好影響を与える可能性もある。

20～40代が中心となる子育て世代は、不安定な雇用環境に直面している。家計を支えるために働く女性も増えているが、3世代同居の比率は減少傾向にあるため、一連の町の対応策は、人口増を目指す自治体に大きな示唆を与える。（木村俊雄）

奈義町合計特殊出生率上昇

他自治体へ示唆

奈義町の現状

子育て支援

子育て世代の不安

高い施策として実行

3世代同居の比率減少

人口増を目指す自治体

2015（平成27年）
11月25日 山陽新聞朝刊掲載

郷土色豊か、軽快

全町民楽しめる総踊り

「なぎチョイヤッサー」の踊りを練習する町民たち

奈義町は、世代間交流やコミュニティーの活性化を目指し、老若男女が楽しめる新しい町民総踊り「なぎチョイヤッサー」を創作した。郷土色豊かな歌詞、乗りの良い曲に合わせた軽快な踊り。14日、町ふるさと夏まつりでお披露目される。（大橋孝平）

奈義町創作　14日披露へ仕上げに熱

総踊りは約4分。作詞作曲は、うらじゃ踊りの作曲などを手掛けたミュージシャン・岡田ピローさん。愛知県出身。が担当した。歌詞に「那岐山」「奈義ピーフ」といった町の名所や特産物の名前をちりばめ、うらじゃ踊りをほうふつさせるアップテンポな曲調に仕上げている。

踊りは「うらじゃ音頭」の振り付けを指導した中川雅子さん＝岡山市＝が考案。手を上下に振ったり、手拍子を取ったりするなど、軽やかな動き数パターンで組み立て、子どもやお年寄りでも覚えやすい内容となっている。

従来の町民総踊りは若者の参加が少なかったため、全町民が参加できて郷土愛を深められる新作をと、町が今年2月から計画。タイトルは奈義中生徒から募集し、「奈義町良いところ」と掛け声「チョイヤッサー」を併せた名称に決めた。

7月中旬から、町民延べ約600人が中川さんの指導を受け、奈義町広岡の奈義小体育館などで練習を重ねている。町ふるさと夏まつりでは花火に先立ち、午後8時から同町豊沢の奈義中央広場で披露される。

2016（平成28年）
8月6日 山陽新聞朝刊掲載

特産肉とアート満喫を

奈義町現代美術館周辺　24日、初イベント

奈義町豊沢の町現代美術館周辺で24日、町特産の肉を味わいながら、音楽やアートを楽しむ「アートdeミートNagi2016」が初開催される。

岡山、津山市や勝央町のレストランで腕を振るうシェフら5人が「なぎビーフ」「おかやま黒豚」を材料に工夫を凝らした1品を提供。奈義町現代美術館周辺の飲食店や、芸術家の作品展示や、写真家青木繁さんの映像作品の投影も美術館内外で行われる。

定員500人。肉料理1品などと美術館入場券がセットのチケットは前売り3500円（当日4千円）。奈義町総務課（0868㈹4114）。

心に活動する4人組ユニット「あおちゃうけ」とギタリスト荒木博司さんが生演奏を披露。

会場では、県内を中心に活動する作家・鉄筋彫刻家穂持耕一郎さん、映像作家井手豊さんの作品展示や、写真家青木繁さんの映像作品の投影も美術館内外で行われる。

チケットは町役場や同美術館、一部コンビニなどで販売。問い合わせは実行委事務局（町産業振興課（0868㈹4114）。

2016（平成28年）
9月21日 山陽新聞朝刊掲載

2017（平成29年）
5月10日 山陽新聞朝刊掲載

障害児・家族 交流を

B&G海洋センター内 拠点施設を開所

奈義町

おもちゃや絵本などを備えた「みんなのおうち ぽっかぽか」

奈義町は障害のある子どもや、その保護者らが無料で利用できる拠点施設「みんなのおうち ぽっかぽか」を改修、子どもが寝転んで遊べるよう畳スペースを設け、おもちゃや絵本のほか、飲食ができる食器やテーブルなども備えている。

運営は町社会福祉協議会から委託された町民有志らによるグループ「ぽっかぽかの会」（西昌子会長）と元教師のスタッフ3人が担当する。障害のない子どもたちの利用も推進しており、交流によって互いの理解が進むことも期待している。

7日に開所式があり、関係者約30人が出席。笠木義孝町長は「家や学校以外に子どもたちが落ち着ける居場所は大切。住にスタッフが常駐して支援に当たり、障害児や家族が気軽に立ち寄れる居場所を目指す。

施設は同センターの会議室（約60平方㍍）を改修。子どもが寝転んで遊べるよう畳スペースを設け、おもちゃや絵本のほか、飲食がみやすい町と思ってもらえるよう、この施設が有効活用されることを願っている」と話した。

開所時間は午前10時～午後4時。7月下旬から水曜の午後を予定している。問い合わせは町社協（0868＠6363）。（大橋孝平）

2017（平成29年）
5月27日 山陽新聞朝刊掲載

出生率トップ 奈義1.98

11～15年、県内市町村

雇用、育児環境が影響？

県は、2011～15年の県内市町村別の合計特殊出生率（1人の女性が生涯に生む子どもの推定人数）をまとめた。最も高かったのは奈義町の1.98、最低は久米南町の1.12。雇用環境が比較的安定し、自治体の子育て支援などが充実している地域ほど高くなる傾向がうかがえた。（多田和代）

県内市町村の合計特殊出生率（2011～15年）

岡山市	市	1.46
倉敷市	市	1.64
津山市	市	1.64
玉野市	市	1.35
笠岡市	市	1.29
井原市	市	1.31
総社市	市	1.51
高梁市	市	1.38
新見市	市	1.57
備前市	市	1.39
瀬戸内市	市	1.30
赤磐市	市	1.47
真庭市	市	1.72
美作市	市	1.56
浅口市	市	1.26
和気町	町	1.26
早島町	町	1.62
里庄町	町	1.54
矢掛町	町	1.31
新庄村	村	1.78
鏡野町	町	1.73
勝央町	町	1.76
奈義町	町	1.98
西粟倉村	村	1.58
久米南町	町	1.12
美咲町	町	1.61
吉備中央町	町	1.50
県		1.51
全国		1.40

県の15年の合計特殊出生率は中国5県で最低の1・54となっており、今後の人口減少対策に役立てようと独自に調査した。分析は公益社団法人・中国地方総合研究センター（広島市）に委託。雇用者所得や保育所数、小児科の医師数などと出生率に影響するとみられる地域特性との関連も調べた。

最高の奈義町は、正規雇用者の割合（73・9％、10年）が高いうえに完全失業率（3・8％、同）が低いなど雇用環境が安定、育児を分担しやすい3世代同居の割合が多く、同町が高校生までの医療費を無料にするなど子育て支援に力を注いでいることも寄与したとみる。

2番目に高かった新庄村は1・78。働く既婚女性の割合が県内トップだが、同町の1.12。雇用環境が比較的安定し、自治体の子育て支援などが充実している地域ほど高くなる傾向がうかがえた。

最低は久米南町。雇用者所得が低いことなどが関係していると分析。次いで低かった浅口市と和気町はそれぞれ1・26で、いずれも雇用者所得などが県平均を下回った。

このほか、岡山市は県平均（1・51）より低い1・46。雇用者所得は県平均より多いが、20～34歳の既婚女性の割合が低く、待機児童数も多い。また、倉敷、津山市の同出生率はそれぞれ1・64と県平均を上回った。

県子ども未来課は「岡山県は中国5県の中で20代前半から30代前半女性の未婚率が高い。結婚サポート事業に取り組むとともに、地域ぐるみで子育てができる環境づくりを市町村とともに進めたい」としている。

2018（平成30年）
4月12日 山陽新聞朝刊掲載

健診／ボランティア／議会傍聴／買い物

幅広い活動にポイント

奈義町、全町民へ専用カード

奈義町は13日、町民らの健康づくりや地域活動、町内での買い物にポイントを付与する制度を始める。健診、ボランティア、議会傍聴といった幅広い活動をポイントの対象とするのが特徴。1Cチップの付いた専用カードを全町民5915人に配布し、たまったポイントは加盟店で使用できる。町民の健康増進と社会参画を促し、町内経済の活性化を図るのが狙いで、全国的にも珍しい取り組みという。（大橋孝平）

「ナギフト制度」と名付けた。特定検診や健康診断をはじめ、町民運動会といった健康づくりイベントに参加すると1回当たり最大25㍑がもらえる。町内での各種ボランティア活動、長寿大学や図書館の利用、スポーツ少年団への加入といった子育て・教育分野には5～100㍑を付与。議会傍聴（25㍑）や防災訓練参加（同）、高齢者の運転免許証の自主返納（500㍑）も対象とした。買い物でも金額に応じたポイントがたまる。

ポイントは1㍑当たり1円として、町内にあるスーパーや飲食店、美容院など協力を設置した65の加盟店で使用できる。町役場にある書面で申請すれば、ポイントを友人らへプレゼントできるといった仕組みも採用する。本年度中に現金をチャージできる電子マネー機能の搭載も予定。運営費1300万円を2018年度一般会計予算に組み込んだ。

ナギフト制度の専用カード（左が町民用、右は町外者用）

同町によると、県内の他の自治体でも健康づくりにポイントを付与する制度はあるが、地域活動など幅広い分野を対象にしているケースはなく、ポイント交換も景品や商品券などに限られている。全国的には福岡県嘉麻市や熊本県玉名市が同様のサービスを実施。ただ、奈義町で計画している電子マネー機能や他人へのポイント贈与、全住民へのカード配布はしていない。

同町まちづくり戦略室は「町民皆で行うまちづくりにつながる。町内の商店や事業者の参加率も高く、カードを常に持ち歩いて、積極的に活用してもらいたい」としている。

ポイントの対象は町民と異なるが、町外の人も申請すればカードを持つことができる。問い合わせは同戦略室（0868＠4126）。

あすから 社会参画、活性化狙う

2017（平成29年）
5月10日 山陽新聞朝刊掲載

日本原演習場

米海兵隊が撤収

初の単独訓練終える

陸上自衛隊日本原演習場（岡山県奈義町、津山市）で初の単独訓練を行っていた米海兵隊が20日朝、14日間の訓練を終えて所属する岩国基地（山口県岩国市）に向けて出発した。7日から射撃など3種類の訓練を実施。期間中、市民団体による反対運動はあったが、トラブルなどはなかった。

仲介役の中国四国防衛局（広島市）によると、隊員を乗せた車両約30台が20日午前7時半ごろから順次、宿営地としていた隣接する日本原駐屯地（同町滝本）を撤収した。

訓練を実施したのは米海兵隊後方支援部隊で、9～12日にマシンガンを用いた射撃訓練、14～17日にヘリコプター離着陸帯（ヘリパッド）の敷設訓練と飲料水などを作る浄水訓練に当たった。

同防衛局によると、米海兵隊の単独訓練は、中四国地方では陸上自衛隊原村演習場（東広島市）に続き2カ所目。これまで限定射撃訓練をしていた東富士演習場（静岡県御殿場市など）が岩国から遠く、日本原を希望していた。

米海兵隊は今後も年1回、14日以内で単独訓練を計画しており、津山市と奈義町は演習場の使用に関する打診があった場合、住民代表らでつくる演習場対策委員会に諮って承認を得た上で使用の可否を決めるとしている。（大橋孝平）

訓練を終え、陸上自衛隊日本原駐屯地を出発する米海兵隊の車両＝20日午前7時59分、岡山県奈義町滝本

2018（平成30年）
10月20日 山陽新聞朝刊掲載

開所した「ナギテラス」。町営なぎバス（右）や路線バスの停留所となるほか、観光案内所や多目的スペースを設けている

交通、情報発信拠点に

奈義町「ナギテラス」開所

奈義町が役場前の国道53号沿いに整備していた多世代交流広場「ナギテラス」（豊沢）が1日、開所した。この日運行を開始した町営なぎバスや、路線バスの停留所となるのをはじめ、観光案内所が移転して開設。イベントや講座などの場として使用できる多目的スペースも備えている。（平田知也）

バス停留所や観光案内所

町が購入した飲食店跡などの敷地1958平方㍍に2017年度、交通の拠点づくりとともに情報発信や交流人口の拡大などを目的に木造2階延べ322平方㍍の施設を建設。18年度は送迎用の駐車場（10台）や庭園「みんなの庭」などを整えた。施設内には文化センター北にあった観光案内所が移り、多目的スペースのほか、待合コーナー、飲食展示スペースを設けている。

停留所は役場前と現代美術館前を結合し、「ナギテラス（役場前）」となった。施設の開所時間は午前9時～午後5時で、待合コーナーは午前6時45分～午後9時。

庭園に植える樹種は町民によるワークショップを繰り返し行って検討。イチョウやハクモクレン、ツツジなど町内に自生している樹木や草花を選んだ。

事業費は約3億600万円。多目的スペースや飲食展示スペースの活用に向けて町は協議を急ぐ方針。

2019（平成31年 令和元年）
4月6日 山陽新聞朝刊掲載

暮らしやすい奈義へ

奥町長初登庁 職員から花束

任期満了に伴う奈義町長選（3日投開票）で初当選を果たした奥正親氏（60）が15日、町役場に初登庁し、一人一人に対し一生懸命取り組み、暮らしやすく魅力ある町づくりを進めたい」と抱負を語った。

奥町長は庁舎前で職員約50人に迎えられ、職員から祝いの花束を受け取った。続いて庁舎内で訓示を述べ、「一致団結して新しい目標に向かってまい進よう。ハード整備よりソフト事業を進め、人に投資すると強調。「人つ一つの施策を見直し、住民の生活を支援し、人口維持につながるか」てもらいたい」と指示した。

職員（手前左）から花束を受け取る奥町長

奥町長は昨年7月、の選挙戦で現職、新人町総務課長を辞し、立2人の三つどもえを制候補を表明。16年ぶり した。（平田知也）

2019（平成31年 令和元年）
2月16日 山陽新聞朝刊掲載

横仙歌舞伎保存会に贈呈

ポーラ賞

芸能や民俗行事、工芸の保存、発展に取り組む個人・団体を奨励する「第29回伝統文化ポーラ賞」の贈呈式が29日、東京都内であり、地域賞に選ばれた「横仙歌舞伎保存会」（奈義町、会長・奥正親町長）など1団体・7人が表彰された。

横仙歌舞伎保存会が地域賞に選ばれ、賞状を受け取る和田敦育長

横仙歌舞伎は、那岐山麓一帯の「横仙」と古称される地域に江戸時代から伝わる。

理事長が結成され、毎年定期公演を開いたり、町内の小学校で指導したりし重ね、地域文化の振興、継承に取り組まれてきた。一受け継がれてきた。受賞者に賞状 会社のポーラが設立した同財団が1981年の小西尚子財団（東京）理事長が「卓越した技術に日々の研さんを積む小学校で指導したりし重ね、地域文化の振興、継承に取り組まれてきた。一受け継がれてきた。受賞者に賞状 会社のポーラが設立した同財団が1981年から贈っている。（内田光祐）

2019（平成31年 令和元年）
10月30日 山陽新聞朝刊掲載

奈 義 町
六十五年

写真が語る奈義町のあゆみ
２００４－２０１９

発 行 日　令和3年3月発行

編　　集　奈義町

発　　行　奈　義　町
〒708-1392
岡山県勝田郡奈義町豊沢306-1
TEL.(0868)36-4111

制　　作　山陽印刷株式会社

資料提供　山陽新聞社　共同通信社

みらいを、掘り起こせ

奈義町